

会長のページ 地域医療構想調整会議	河野 雅行	3
COVID-19報告 新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（7月9日現在）	吉田 建世	4
日州医談 県立病院の看護師中途採用問題について	赤須郁太郎	6
はまゆう随筆（その2）		8
長嶺 和弘, 長沼弘三郎, 岡村 博道, 小原 健一, 上山征史郎, 呉屋 朝和, 坂田 師隣, 稲倉 琢也, 大森 史彦, 杜若 陽祐, 山口 和正, 宇都 浩文, 坂田 師通		
エコー・リレー（540）	大山 龍介, 深尾 理	19
宮崎大学医学部だより（宮崎大学医学部附属病院患者支援センター）	鈴木 斎王	28
専門分科医会だより（皮膚科医会）	田尻 明彦	29
私の本 1）イラストで学ぶ病気や身体の基本知識 2 2）それでもタバコを吸いますか？	大塚 伸昭	64
診療メモ めまいの診断と治療	清水 謙祐	80
宮大医学部学生のページ 令和2年度、新入生歓迎委員よりご報告	高尾 政輝	82

あなたできますか？（令和元年度医師国家試験問題より）	18
宮崎県感染症発生動向	20
各郡市医師会役員等名簿	22
各郡市医師会だより（宮崎市郡医師会，都城市北諸県郡医師会）	24
第171回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）	30
第172回宮崎県医師会定例代議員会（概要）	33
第173回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）	35
令和2年度第77回宮崎県医師会総会	38
ベストセラー	40
宮崎県医師会理事業務分担	41
九州医師会連合会第384回常任委員会	42
九州医連連絡会第29回常任執行委員会	44
第1回全国医師会産業医部会連絡協議会	46
新型コロナウイルス対策の第二次補正予算に関する連絡会	50
日医インターネットニュースから	52
理事会日誌	54
県医の動き	60
医師国保組合だより	61
会員の異動・変更報告	62
ドクターバンク情報	65
行事予定	71
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	75
あとがき	88

お知らせ カット・イラストの募集	17
クールビズの実施について	43
第21回宮崎県医師会医家芸術展開催中止	44
医療勤務環境改善支援センター	45
令和2年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	59
日州医事へのご意見・ご感想	69
第4回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	73
郡市医師会への送付文書	84

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

大淀川花火大会

毎夏、八月第一土曜日に開催される「みやざき納涼花火大会（大淀川花火大会）」を楽しみにしています。最近は色がさまざまに変化する花火が増え、一瞬の美しい光を写真に残すことが難しくなってきましたが、頑張っています。今の世の中の不安をかき消すような豪快な花火大会が今年も開催されることを祈っています。

宮崎市 いのくち のぶ こ
井ノ口 信 子

会長のページ

地域医療構想調整会議

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

地域医療構想調整会議は、各二次医療圏における地域医療について、医療ニーズを把握し、医療機能の分化・連携の推進や地域の課題などを共有・対応するために、地域の現状に詳しい医療関係者や自治体が主体となって総合的に検討する場として設けられました。コロナ騒動で少しトーンダウンした感はありますが、地域医療を守り皆保険制度を堅持するためには、活動を中断するわけにはまいりません。我が国の地域医療は、自助・公助・共助が根本理念です。地域医療構想調整会議では地域医療に関するさまざまな事柄を協議します。メンバーは医師のみならず

さまざまな医療関係者より構成されています。地域医療に関するさまざまな事柄を協議します。ベッド数の調整のみならず、新たに医師法で規定された「外来医療計画」に従い、今までは届け出のみで可能であった無床診療所の開設も、医師多数地域では対象となりました。更に、CTやMRIなどの医療機器資源の共同利用についても協議されます。拡大解釈して地域内の医師・看護師などの人的資源も共同が可能となれば地域医療はゆとりが生まれるかもしれません。地域の実情に沿って地域医療を考える姿勢は肯定できます。平たく言えば、医療・介護・福祉はアンタッチャブルであった分野を、いわば「拡大町内会」として地域住民の声・パワーを生かす良い組織でもあります。我が国は、縄文・弥生時代の「むら社会」から発展してきたものとも捉えられています。地域での共同・協調が基本的に根付いており、その点からも自分たちの医療を地域で考えていくことは自然な流れでもあるでしょう。ただし、玉虫色に見える地域に応じた医療も地域の規模によってはカバーできる範囲が限られます。大規模地域との地域差を助長する結果になっては、本末転倒になる危険性もあります。同様に、今後は介護や福祉についても同会議において協議するべきかもしれません。しかし、この会議の位置づけ・権限や、就任された委員に対する報酬も不明確で、ボランティアとして参加している例が多いようです。これでは永続的な機能組織としては、無理があるのではないのでしょうか。

県全体の医療関連事項を協議する知の諮問機関としては、医療審議会があります。新たに設置された会議が屋上屋を重ねることにならないようにする必要があります。医療審議会は調整会議の意見を尊重するべきではあっても、結論に対して否を唱えなければならない場面も起こり得ます。

このような地道な努力によって築き上げられつつある地域医療も、今回のコロナ災禍のようなビッグアクシデントにより少し停滞した感はありますが、せっかく設置された会議です。有効活用して将来の地域医療をしっかりとしたものにして欲しいと思います。

(令和2年7月14日)

COVID-19報告



新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（7月9日現在）

宮崎県医師会 常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

7月3日からの豪雨により全国各地で甚大な被害がもたらされました。被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら避難所運営をする初めての本格的な事例となったが、日医はすでに6月17日に「都道府県医師会災害医療・感染症危機管理担当理事連絡協議会」を開催し、避難所における新型コロナウイルス感染症対策の重要性を訴え、「新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル」を公表している。マニュアルは本会ホームページにも掲載しているので参考にしていきたい。

6月19日に国から「今後を見据えた新型コロナウイルス感染症の医療提供体制整備について」という考え方が示され、本県においてもこの考え方にに基づき医療提供体制の再検討中である。これまで患者数の推計は、主に中国武漢の疫学情報や行政の介入がない前提でなされていたため非常に多い数となっていた。今回は、日本国内でのこれまでの発生動向や感染拡大防止のための社会への協力要請の効果を踏まえ推計をする。今後は、この推計患者数に応じフェーズごとの医療提供体制を構築することになるが、宮崎県では、すでに7月5日に18例目が85日ぶりに発生し、フェーズ0を1に移行して警戒を強めているところである。

宮崎市郡医師会病院移転後の旧病院建物を新型コロナウイルス感染症対策に活用するよう知事や県議会議長に対し要望をしていたが、6月30日に県医療薬務課から活用に向けて協議をすすめたい方針の説明があった。新型コロナウイルス感染症対策に資するだけでなく、同患者を集約することで一般の救急医療を含む医療提供体制の崩壊を防ぐことも期待をしている。

7月9日現在の県医師会のCOVID-19関連の主な活動を報告します。

【主な活動】

1 会議等

7月3日 県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議（吉田常任理事）
そのほか、常任理事協議会、全理事協議会、六役会等において協議を重ねている。

2 日本医師会からの情報収集

6月17日 都道府県医師会災害医療・感染症危機管理担当理事連絡協議会【日医TV会議】（濱田副会長、佐々木(幸)常任理事、峰松理事）
6月19日 新型コロナウイルス対策の二次補正予算に関する連絡会【日医TV会議】（山村副会長）

3 会員への情報発信等

① FAXニュースの発信

6月10日	新型コロナウイルス感染症への対応について (22) ・ 県知事と県議会議長へ要望 ・ 「新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド 第2版」のご紹介 ・ 「医療機関等における産業保健活動としての新型コロナウイルス対策」のご紹介
7月6日	新型コロナウイルス感染症への対応について (23) ・ 患者発生について ・ 新型コロナウイルス感染症対応に関連した慰労金、支援金について

② その他

6月9日	新型コロナウイルス感染症入院協力医療機関アンケートを実施
7月8日	新型コロナウイルス感染症の保険適用検査実施にかかる契約手続きのとりまとめ (宮崎市外の医療機関対象)

4 マスク、手指消毒用エタノールなどの確保と配布

主に各郡市医師会を通じて新型コロナウイルス感染症対策に必要な医療機関に配布を行っている。今後も優先配布の要望を行う。

6月17日	サージカルマスク (2,000枚) 【タイオンHDより寄贈】	6月29日	フェイスシールド (11,700枚) アイソレーションガウン (53,100枚) 【国供給】
6月22日	フェイスシールド (12,000枚) アイソレーションガウン (53,100枚) 【国供給】	7月6日	フェイスシールド (11,000枚) アイソレーションガウン (29,600枚) 【国供給】

5 患者発生状況

本県第1例目から7月9日現在判明分のまとめ

No.	判明日	年代	性別	居住地	No.	判明日	年代	性別	居住地
1	3月4日	70代	男性	宮崎市	10	4月5日	60代	男性	宮崎市
2	3月17日	20代	男性	英国	11	4月6日	40代	男性	宮崎市
3	3月17日	40代	男性	高千穂町	12	4月7日	50代	男性	日南市
4	4月3日	50代	男性	延岡市	13	4月8日	30代	女性	日南市
5	4月3日	40代	女性	宮崎市	14	4月8日	10代	女性	日南市
6	4月3日	10代	女性	宮崎市	15	4月8日	10代	男性	日南市
7	4月3日	50代	男性	東京都	16	4月8日	10代	男性	日南市
8	4月4日	50代	女性	宮崎市	17	4月11日	50代	女性	宮崎市
9	4月5日	50代	男性	宮崎市	18	7月5日	40代	男性	宮崎市

日州医談



県立病院の看護師中途採用問題について

あか す いくたろう
理 事 赤 須 郁太郎

【はじめに】

看護師をいかにして確保するかはクリニック・病院とも共通の課題である。

各郡市医師会では苦しい財政の中、看護学校を運営し看護師を養成している。会員は看護学校で講義をし、運営資金を集め、人材を確保しながら卒業生のうち8～9割程度を県内、それも地域の医療施設の就職に導いている。

就職した後も全力で応援し、苦勞して現場のリーダーにまで大切に育て上げた看護師が、県立病院の中途採用によって病棟からひとり、またひとりと消えて行く…という事態が起こり、病院存続の危機に直面している。

この「中途採用」について病院の現状を踏まえ考えてみたい。

【「宮崎県看護師選考採用試験」における地域枠の採用基準】

令和元年度の地域枠採用基準は以下のようになっていた。

年齢：43歳以下

試験内容：面接、書類審査、適性検査のみ

(平成29年度までは試験を行っていた
が現在は行われていない)

要するに面接だけである。つまり夜勤をしている病院に勤めている人材なら合格するのである。また地域枠には「採用後の異動はない」と

いう特典もある。

以上のように、基準はかなり甘く、ハードルは年々下げられてきた。

私どもの病院でも、これまでに計6人の看護師が受験、全員採用された。

たったの6人というなかれ。この6人はいずれも夜勤を行い、リーダーを務め、更に役職者もいた。当たり前であるが夜勤の人数は入院患者数の基準に沿って数が決められている。どの病院でも最低基準を満たすのが精一杯で余裕がないのが現状である。

中途採用は10月1日からの勤務だが、急に9月に退職の申し出があったため、夜勤の看護師を確保するのに苦勞した。あるときは手術室勤務の看護師や外来勤務の看護師にお願いして夜勤に入ってもらい、乗り切ったこともあった。

このような運営の危機に直面した医療機関は他にも多数あり、地域医療の崩壊寸前であった。すなわち、地域の医療機関では人員がギリギリで余裕はまったくない。

そのような状況の中で、「宮崎県看護師採用試験」は毎年行われ、平成30年度は延岡病院で12人、日南病院で7人の地域枠採用があった。

これだけの人数の看護師が、ある日ゴッソリと民間病院から抜けたら、運営ができないほどの大打撃であることは想像に難くないと思う。

【どのようにして始まったのか】

県議会議員に伺ったところ、もともと地域枠採用は東京や大阪、福岡、宮崎市在住の看護師に、故郷に戻って、あるいは延岡、日南に住んで仕事をしてもらうことを目的とした人員確保作戦として始まったそうである。そのうちに3.11の東北大震災が起きた。災害時でも地域在住の看護師ならば、すぐに人員の確保がしやすいとの理由も重なり、地域枠採用は議員からも推奨され、ますます力が入ったようである。

しかしながら現実には他県からの受験はほとんどなく、宮崎県在住者の受験、すなわち延岡、日南在住の看護師がほとんどであった。

年々、基準は甘くなり、前述のように年齢は43歳まで上限があがり、試験もなくなり、面接のみとなった。どこの病院で働いていたのが重視され、もちろん夜勤ができる人員が採用されていった。夜勤をしている看護師は病院では中堅であり、もっとも頼れる戦力となっている人たちであり、その損失は他では変えられない大きなものとなっていった。

【本来の趣旨に戻るためには…】

今のままでは、地域の民間病院と無用の摩擦を生み、病診連携の弊害となりかねない。

もともと他県からのIターン、Jターンを目的に創設された制度でありその趣旨には賛同する。地元の看護師を「引き抜く」制度ではなかったはずである。

この件については、病院局との意見交換会などを通じて、改善を求めてきた。

その結果、病院局のほうでも、我々の状況を理解していただき、前向きな検討を始めていただいた。

令和元年度の延岡病院の地域枠採用は14人であったが、そのうち県外からは11人、残る3人も延岡病院の非正規職員であり、延岡市内の民間病院からの採用は0だった。

私どもの趣旨をご理解いただいているものと思う。

しかしながら、この制度が存続する限り、本来の趣旨から外れて無用の摩擦に発展しないよう、常に監視し「予防薬」になるよう努める所存である。

また、看護師確保の問題については宮崎県立看護大学の宮崎県内就職率の低さ（約38%）についても、取り組んでいきたいと考えている。県内のどの地域でも医師会立看護学校の地元就職率の高さは特筆すべきである。そもそも、我々は会員のために看護師を養成しているにもかかわらず県立病院までもが、その守備範囲に入ってしまった。県立看護大学はぜひとも県立病院への就職を積極的に勧めていただき、医師会立看護学校の卒業生は地域会員の病院、クリニックに就職するという本来の姿に戻ってほしい。医師会立看護学校に対する県からの助成金問題も含め、この件については県庁、県立看護大学に強く働きかけていく所存である。

【まとめ】

- ① 県立病院の中途採用は、県外を中心に採用すべきである。
- ② 県立看護大学こそ、県立病院への人材供給の中心となるべきである。

は ま ゆ う 随 筆

その2

(7,8,9月号に分けて掲載しております)

加江田溪谷の散策

宮崎市 長嶺内科クリニック なが みね かず ひろ
長 嶺 和 弘

私は、学生時代、ワンダーフォーゲル部に所属し、大学が関東だったので、群馬、山梨、長野県の山に登っていた。卒業後も、たまに韓国岳などに登っていたが、子どもが生まれた後は、山に行く機会がなくなった。しかし、最近、子どもたちが大きくなり（長男7歳、長女5歳）、ある程度、歩けるようになったことから、今回、春のある日の午後に、加江田溪谷に家族4人で出かけた。ご存知のとおり、加江田溪谷は宮崎市南部にあり、宮崎駅から車で約30分で行くことができ、手軽に自然に触れることができる場所である。この溪谷は、貴重な照葉樹林が残る宮崎自然休養林の一部で、双石山系と徳蘇山系に挟まれている。また、溪谷の長さは約9kmで、水の浸食によってできた千差万別の奇岩が点在し自然美にあふれ、遊歩道が整備されている。今回のコースは、丸野駐車場～広河原休憩所、片道2.4km、往復4.8kmの距離であった。リュックサックに水筒、グランドシート、携帯食（子どもたちの希望で飴玉、どら焼きなど）を入れて、駐車場を出発。途中、川沿いの堤防を通ったところ、水たまりのような場所に、おたまじゃくしとかえるの卵をたくさん見つけ、子どもたちは大喜びした。その後、元の遊歩道に戻り、川沿いを登って行くと、徐々に川面と遊歩道の高低差が狭まっていく。また、川の中の岩も、大きいものや穴があいて

いるものなどいろいろな形があり、見ていて飽きなかった。途中、自分が息子と同じ年齢のころ（6－7歳）、家族でこの溪谷に魚釣りに数回来たことを思い出した。家近くの釣具屋さんで餌になるミミズを買って、竿、バケツを持って、釣りができるところまで歩き、ハゼを数匹釣ったと思う。今回、どこで釣ったのかと思いながら歩いたが、数十年が経過し、景色が変わったのか、自分の記憶の中の景色と合う場所を見つけることができなかった。そうこうしているうちに、目的地の広河原休憩所に着いた。河原に降りると、天気がよく、周囲の木々の緑が映え、水面は太陽の光で輝いているように見えた。グランドシートを広げ、休憩し、コンビニで買ったどら焼きを皆で分けたが、とても美味しく感じられた。その後、子どもたちと水切りを行い、石の選び方、投げ方を教えたところ、何回かはうまくできるようになった。あつという間に時間が経ち、まだいたいという子どもたちを説得し、帰りは来た道を戻ったが、行きに比べると取りが軽く、行きの2/3の時間で到着した。合計で約3時間の行程であったが、子どもたちの生き生きとした姿を見ることができ、心地よい疲労感に満たされ、自然の中で過ごす良さを実感した。今回、登山やハイキングが自分をリフレッシュさせてくれることを再度認識した。なかなか時間を作るのが難しいが、今後は、子どもたちや自分のためにも、自然の中で過ごす機会を増やしていきたいと思う。

巡礼“起”

延岡市 長沼医院 ながぬま こうざぶろう
長 沼 弘三郎

めでたくも喜寿を迎えたこの年の4月は、“コロナ禍”に巻き込まれ家に閉じこめられた。車を手放して足の便がなくなったこともあり、この際にと宮交バスで続けて3週高千穂に通い詰めた。心積りは、不如意な日常からの逃避と山を伝い歩きしてモヤモヤを解放することだった。

山支度をして高千穂バスセンターから歩き出し、道の駅、新都高千穂大橋を通り、中の原から旧道（日向往還）に足に向けた。双耳峰の二上山を奥に眺めながら、九十折れを片内、芝原、花の群といった集落の屋敷道を通り、祠の位置する津花峠（678m）に達して、峠越しで上室野の旧道分岐に着き国道218号線に合流した。道は廃れて車にもめったにすれ違わなかったが、まれに行き交うお年寄りや昔話が弾んだ。

まわりの自然は生のままの姿で、山裾の山桜やタラの芽、道端のシャガの花、小鳥のさえずり、沢や小さな滝のせせらぎ、飛び交う蝶、木洩れ日の下踏みしだくカサカサした音にも心を惹かれた。

振り返れば53年前にバイクで当時住んでいた鹿児島県の東市来から宮之城、人吉、市房、椎葉、馬見原、五ヶ瀬を抜けて高千穂に至り何度か祖母山に登った。むろん峠直下の津花トンネルが開通する以前のことで記憶は定かでない。

この峠道は歴史にも彩られている。西南の役で薩軍が砲台を構築し、大正期には山頭火が「分け入っても分け入っても青い山」の佳句を詠んだところだ。

その日は“ごかせ温泉 森の宿 木地屋”に宿泊。

翌日は浄専寺から六峰街道を上りつめ、鞍部から二上山女岳（987m）に登山。山肌は満開のアカボノツツジに包まれ、頂上の展望台から

は三田井の街並みを遠くに、昨日歩いた片内、芝原、花の群の小集落が、棚田を南面に“ポツンと一軒家（TV番組）”の面持ちで俯瞰できた。はるか彼方には茫洋とした阿蘇、九重、祖母の山並みがたたなずみ、広漠たる高千穂郷の原風景が見やれた。

男岳（1,082m）に登って帰り道は杉が越林道を押方に向かって下りっぱなし。

途中脇道にそれ芝原神社、三ヶ所神社奥宮、二上神社などに参拝し、2日間で約45kmの距離をぐると一周した。

3度歩いた“道中”は、どうやら自分なりの巡礼の道を探し当てるきっかけになったようだ。巡礼の要とは、目処なく一途に歩くことと、逝きし人のうつろな面影を想って祈ることと、出会った人に「こんにちは」と「和顔愛語」の態度で一声をかけることにある、と私は思っている。ひるがえって“コロナ禍”の今日、それらを行うことで日々活気付き癒やされるのでは。

これを機会に熊野古道、四国八十八ヶ所遍路道1,200kmを手始めに世に知られたスペインのサンティアゴ巡礼路15,00kmにも挑戦して歩いてみようか。

「さて、どちらへ行かう風がふく」（山頭火）



思い出の日本ダービー

延岡市 岡村病院 おかむらひろみち
岡村博道

先日、日本ダービーが行われましたが一番人気のコントロールが期待どおりに入りました。

この馬はディープインパクトの子どもで値段も高い良血馬です。おそらく一億円する馬です！

これに対し昭和46年のダービーの勝馬のヒカルイマイは75万円の安い馬でした。北海道の新冠の小さな牧場に生まれ生産者は馬をつくる専任の人ではなく農家と兼業の人でしたのでヒカルイマイは産まれてからすぐになりっぱな牧場でなくて家の裏の沢などで遊んでいたそうです。だから競走馬になるのに必要な馴致もしていなかったそうです。血統も悪く見かけも悪かったのでなかなか買い手が見つからず、肉として売られる寸前の時に買い手がついて売値200万円のところを値切られ75万円で買われたようです。

関西の谷厩舎に入り、そこで鍛えられ新馬戦に出たところ勝ちをし、2戦目も勝ち、3歳になりきさらぎ賞を征し、皐月賞に臨みました。そのレースで並みいる良血馬を退け優勝しました。そのあとNHK杯でも優勝していいよ日本ダービーです。このレースでも一番人気は良血のダコタにゆずりました。このレースは28頭立てで、枠は真ん中あたりでした。スタートしてすぐに前に行けず、後方に待機してずっと我慢して4コーナーを回り、28頭立ての20番手でまわり、そこから矢のように走り20頭すべてを抜き去ったのでした。大歓声の中で優勝しました。幾多の良血馬をものともせず75万円の馬が優勝したのです。わからないものです。この時から競馬は難しいとわかりました。

この後ヒカルイマイは屈筋炎になり、その後は2戦して勝てずそのまま引退しました。生まれ故郷の日高の新冠で種馬になりましたが、よ

い子どもが生まれず鹿児島牧場に移りました。そこは畜産もしていたので肉になるのではないかと心配したファンがその牧場にお金を送ったそうです。

競走馬は、血統が悪いと現役時代にいくら活躍しても引退後は恵まれないこともわかりました。あのオグリキャップも引退後はよい馬を出してません。最近はお金のある大牧場がほとんどのG1レースを征してます。圧倒的にディープインパクトの子どもが勝ってます。種付け料は4,000万円で、子馬の値段は1億円をたびたびオーバーしてます。

今年のダービー馬がそのディープインパクトの子どもだったので、余計にヒカルイマイのことを思い出しました。最近は何でもお金のようです。

古希を迎えました

小林市 医療法人養気会 おばらけんいち
池井病院 小原健一

今年の3月で70歳になりました。早かったような、遅かったような妙な気持です。糖尿病スタッフに古希のお祝いをしてもらいました。幸い前倒しで2月にあったので、新型コロナウイルス感染の影響を受けませんでした。古希を祝う色は紫なんです。紫のかぶりものまでいただいて感激しました。

子どものころは、70歳の大人はおじいちゃんおばあちゃんに見えましたが、いざ自分になるとピンときませんね。確かに気力、体力、知力は若いころに比べ落ちていますが、まだまだ頑張れます。聴力、視力、記憶力の衰えがなければもっといいのですが…。あまり出なくなった

俳優さんや、たまに使う薬はすぐ忘れて困ります。また忘れる俳優、薬は決まって同じことが多いのは不思議ですね。最近は数回忘れたらメモすることになっています。

さあこれからどう生きましょうか。仕事、趣味、旅行いろいろありますけど、当座は心と体が許す限り仕事を優先するつもりです。おそらく次のターニングポイントは75歳だと思っています。残り少ない人生を愛おしみたいですね。そのためにはもう少し頭と体を鍛えないといけませんね。今月から定期的な運動を始めましょう。

皆様も新型コロナウイルスに負けず、ますます頑張ってください。

思 い 出

西都市 上山医院 うえ やま せいしろう
上 山 征史郎

私は昭和33年東邦大学医学部に入学し、6人の同級生（親友）に恵まれた。

剣道部、野球部、ラグビー部、空手部、柔道部と各部別々であったが、気が合ってよくつるんでいた。学科試験の後では夜中まで飲み明かしたものである。そこで酒が強くなっていったような気もする。

卒業後、整形外科の教室に入局した。西新助教授は大変厳しい方だった。学会発表の前日に予演会を行うのだが、顕微鏡のスライドがはつきりしなければ何度でもやり直しを言い渡され、教授の許可が出るまで皆とともに朝までスライドを作り続けることがしばしばあった。今は懐かしい思い出となっている。

親友たちも故郷に戻る者、東京に残り開業する者、それぞれの生活が始まった。私は同大学

の大学病院で勤務後、昭和52年に故郷宮崎に帰り、無口で昔気質だった父と一緒に医業に励むことで一番の親孝行をしたと思っている。医師会の役員、学校医そして院長を引き継ぎ、息子とともに地域医療の一端を担っている。

息子が医業を継いで一緒に働いていること、昨年は瑞宝双光章を戴き、皇居・豊明殿で天皇陛下に拝謁したことを明治生まれの父は喜んでくれていると思う。

研修会や学会・同窓会で親友たちに会うと、近況報告をしつつ学生時代に戻った気になった。子どもたちがまだ小さいころは6人の家族で幹事を決めて1年に1回夏休みに家族旅行をしていた。集まれるものは皆参加であったため、ちょっとした団体旅行となっていた。日本全国いろいろな所に行ったものである。

子どもたちもそれぞれ大きくなり、自分たちも仕事が忙しくなり家族旅行はいつの間になくなっていったが、その代わり年1回の夫婦参加での同窓会は続いている。1年おきに地方と東京開催となり宮崎・広島・神戸・新潟・山形・島根といろいろな所を楽しんだ。最近は皆それぞれ体のあちこちが痛くなり、足腰が弱くなってきたためこの3年中止となって、同窓会の開催も危うくなっている。

親友のうち2人欠け、残り4人となった。思い出したように電話があったり電話をしたり、声だけは昔のままだ。できればまた皆で会いたいものだ。



大幡沢を歩く

宮崎市 潤和会記念病院 ご や とも かず
 呉 屋 朝 和

しばしば親しんできた山である霧島山系を、深くえぐっている大幡沢について話したい。

小林市の夷守台や高原町の矢岳東側林道終点から、急登をひたすら大幡池に向かって登っていく。めったに人に会うことはない。大幡池から先は、冬には氷壁を作る膳棚の深い谷の切れ込みを左手に見ながら、稜線をたどる。ミヤマキリシマの灌木の中を大幡山、1,381ピーク、の稜線をたどると獅子戸岳に至る。この稜線沿いの展望は、北に韓国岳、南に高千穂の峰が望まれ、目の前に新燃岳の噴煙が見えている。晴れた日には感動的な雄大な気分させてもらえる。最も気に入っている景観である。足元を見るとこの細い稜線は常に崩壊を繰り返していて、危うい稜線であると感じる。

この稜線の南東側、宮崎県側が大幡沢の源流で、高崎川、大淀川へとそそいでいる。

実際の沢へのとりつきは高原町側からである。沢の左岸は登山道が伸びて、大幡前山への道が続いている。反対側の右岸側は、道は険しいが、迷いやすいので面白い。踏み分け道程度でテープを頼りに、沢本流にそそぐ枝沢を乗り越えて行く。この枝沢のup downの繰り返しが結構体力を消耗する。4月、5月ごろは、やぶ椿の赤と道しるべの赤のテープが同じ色で間違えやすい。やぶ椿の落ちた花卉を落ちた赤テープと間違えて、その方向に歩き出すこともある。足場はスコリアと呼ばれる火山性の軽石のガレ場が続く、歩きにくい上に滑りやすい。ところどころでミツバツツジが咲いていると足が止まり、一息の休息ができる。1時間半くらいで、いわゆる黄金の滝に着く。水流のある川床は黄色に染色され、20m程度の落差の斜滝が

黄金色にキラキラ光って、初めて見た時は緑の森の中に黄金の柱が突如出現したかのような、強烈な幻想的な風景だった。上流の河岸から鉱泉が湧き出していることによる。雨の後はこの黄色沈殿物は洗い流され、元の灰白色の川床に戻っている。右岸のさらなる急登の先に、この鉱泉の湧き出し地点を見ることができる。道はますます分からなくなり、獣道か、わずかなふみ跡か、古いテープを頼りに歩を進める。C沢と呼ばれる枝沢を越えて、本流の方をたどり、更に小さな滝を乗り越えると、この沢で最大の水量の多い35m滝に出会う。ここは行き止まりで帰りは左岸の急登に這い上がり高巻きして稜線に達することができれば、ようやくほっとする。更に上流を目指せば、前述の大幡山の稜線に達することができる。

この山系の、踏み分け道を、愛用のGPS片手にやぶ漕ぎしながら、位置や方角を確認しつつ歩き回るのが、楽しい充実した1日である。最も怖いのはガスが出て周囲の景色がみえなくなった時である。撤退するに限る。

病室で念仏を唱えなさい

高鍋町 医療法人愛生堂 さ た も さ
 坂田病院 坂 田 師 隣

「病室で念仏を唱えないでください」というテレビドラマを観ました。このドラマを観て、研修医時代を憶い出しました。

私の研修医時代は、現在と異なり病院の入院期間の制限がなく、大学病院でも長期入院が認められていました。私も悪性腫瘍の方を初診から死亡に到るまで長期間担当することもありました。

そのような悪性腫瘍の方を、初診から手術、放射線治療、化学療法、その後のフォロー、再発、末期へと経過を辿ることもありました。

末期となり積極的な治療もなくなり、対症療法のみとなり、治療のすべがないとき、私は指導医の先生に、次に何をすべきか、尋ねたことがあります。指導医の先生の返事は、祈りなさいでした。

古の日本では、疾病の治療の主は、加持祈禱が多かったと聞いています。現在の医療でも行き詰まったら、祈りなのかなあと思った次第です。

児湯医師会会員の中にも医師と僧侶の2足の草鞋の先生が在籍されています。彼も、病室で念仏を唱えるのでしょうか。

私も病室で祈ります。しかし仏教徒ではないので、念仏は、唱えません。

惜別 ステーキハウスアンガス

宮崎市 稲倉医院 ^{いな} ^{くら} ^{たく} ^や
稲 倉 琢 也

創業50年あまり、S43年生まれの自分にとって同級生ともいえる宮崎の老舗ステーキハウスアンガスが、去る5/31をもって閉店となりました。“ア・ン〜ガ〜ス、アンガス〜”の耳に残るCMをご記憶の方も多いことと思います。競争激化に今回のコロナ禍が追い打ちをかけたようで、報道などで耳にはしてはいましたが、あらためて今回のコロナ禍が、特に飲食業界に及ぼした影響の大きさを実感しました（人事ではありませんが）。

我が家は“家族で高級ステーキハウスにお出かけする”という家風ではありませんでしたので、子ども時代は漠然とした憧れの思いだけ

で、行ったことはありませんでしたが、大人になり宮崎に帰ってきてから友人らと時々行くようになりました。味だけでなく、昔ながらの重厚な木の扉と赤絨毯のエントランス、入ってすぐの扇形の鉄板カウンター、ステンドグラス、レトロな感じの半個室やフランベの炎が映える暗めの照明など、これぞステーキハウス！という店のたたずまいというか雰囲気が好きでした。肝心の肉も（あくまで自分の好みですが）、いわゆるA4、A5などの脂肪が多く柔らかい肉ばかりでなく、少し固めですが味のあるパイン牛（パイナップルの絞り粕を飼料として使用している）や、宮崎では珍しいドライエイジングの熟成肉、高級鉄板焼きの店ではあまり出さないモモ肉のステーキ（メニューにはありませんでした）など、他店にはあまりないメニューもあり、お気に入りの店でした。ランチもステーキだけでなく、宮崎牛で作ったハンバーグやステーキ用の肉がゴロゴロ入ったカレーがコーヒー付き1,000円以内で食べられ、コスト的にもすぐれた晴れの日ランチとして秀逸な存在でした。

改装して夏に再開するとのことですが、withコロナ社会も意識して扇形のカウンターも、目の前で焼いてくれるスタイルもなくし、ファミリー向けの店になるようです。ファンとしては少し寂しい気もしますが、いい方向にむいてくれることを祈ります。



田部井淳子さんの「チソミソ」

高鍋町 大森内科医院 おおもりふみひこ
大 森 史 彦

以前NHK-FM放送で日曜日お昼から「日曜喫茶室」と題したトーク番組があった。放送作家のはかま満緒さんが司会をして毎週多彩なゲストを迎え、そのゲストに縁のある音楽をかけながら楽しく話をすすめる番組だった。

あるとき登山家の田部井淳子さんが登場した。田部井さんは1939年福島県三春町の生まれ、1975年には女性として初めてエベレスト（チョモランマ）に登頂、1992年にはやはり女性で初めて7大陸最高峰の登頂を果たした。偉大な登山家である。その日の放送では何を話されたかもう覚えていないが、おかず作りの話になった際自分でよく作るチソミソを紹介された。田部井さんは福島県生まれで東北なまりがあり放送でもチソミソとおっしゃっていたが、お話を聞いているとシソミソである。ご飯のお供にすると美味しくて食欲が出るそう。作り方をメモして何度か作ってみたが、お話しのとおり炊きたてのご飯にのせて食べるといくらかも食が進む。作り方を書くので、皆さんもぜひお試しあれ。暑い夏、体が疲れているときには最適のおかずだ。

材料：しその葉（大葉）200枚を適当な大きさに切っておく。かつお節、とうがらし、みそ、酒、みりん、サラダ油 いずれも少量

- ① フライパンでサラダ油を温め、そこにかつお節を入れ炒める。
- ② かつお節がしっとりしたらしその葉100枚（半分）を入れ刻んだとうがらしも加え炒める。
- ③ 味噌、酒、みりんも加え更に炒めてでき上がり直前に残りのしその葉を加えしんなりするまで炒める。

この原稿を書く際、ネットで田部井淳子さんを検索したら息子さんが設立した一般社団法人田部井淳子基金というホームページがヒットした。略歴はこのサイトを参考にした。なんとこのサイトのおまけのページにチソミソが紹介されていて他の料理ものっている。

<https://junko-tabei.jp/junko-tabei/bonus>

RPCフィルム

宮崎市 JCHO宮崎江南病院 かきつばたようすけ
杜 若 陽 祐

コロナウイルスに対するPCRと似ていますが、RPCはコダック社のRapid Processing Copyフィルムのことです。昔は画像をスライドにする時にこのフィルムを使っていました。単純写真やCT・MRIの画像を10～50秒くらいの露出時間をかけて撮影し、それをレントゲンフィルムにテープで貼り付け、現像機で流します。現像されたフィルムをハサミで切って、スライドカバーにマウントしてでき上がりです。研修医（1980年）のころから興味ある症例の画像をスライドにしていたので、かなりの数になりました。

しかし、2000年ごろからはデジカメで画像を撮影するようになり、RPCフィルムの出番もなくなってきました。フィルムの方が画質がよいのですが、手間を考えるとデジカメの方が楽です。最近ではPACSから自由に画像を選択し、ピンボケのない綺麗な画像が保存できるようになりました。あとはパソコンで画像を加工して、パワーポイントに貼り付ければおしまいです。

5月の連休はステイホームの時期で、家の片付けをしました。2階の部屋はRPCフィルムで

作ったスライドがいっぱいで、古い論文のデータや文献も山積みです。論文は思い切って捨てましたが、RPCで作ったスライドには愛着があり、簡単には捨てられません。研修医の時に受け持った前立腺肉腫のAさんや放射線大腸炎のBさんなど、スライドを見ると本人の顔も思い出されます。また、学会で使ったスライドを見ると、発表前に今は亡き教授や同僚たちと熱くディスカッションした場面も蘇ってきます。

現在、RPCフィルムは売られておらず（コダック社は倒産）、スライドという言葉も本来の意味とは違っています。すでに歴史的産物となったスライドですが、これを機会に最後まで持っておきたいスライドの保存版を作り、ときどき昔を振り返りたいと思っています。———そういえばティーチングフィルムの整理も残ってるな（汗）。

ランダム再生

日南市 愛泉会日南病院 やま ぐち かず まさ
山 口 和 正

昔からベートーベンのピアノ協奏曲第五番「皇帝」が好きでよく聞いていた。特に第二楽章が静かに静かに終わって緊張感に包まれる中、叩きつけるようなピアノで第三楽章が始まるところが何とも痺れる。

もう最近はじっくりと腰を落ち着けてクラシックを聴くこともないが、それでもカーオーディオには好きなクラシックも録音してある。ランダム再生にしているとクラシックは楽章ごとに別々に違う曲として認識されるので、後の楽章から始まったりすることもしばしばである。

その日も第三楽章が先に再生され、間に数曲

吉田卓郎や中島みゆきが流れ、それからおもむろに第二楽章が始まった。もう第三楽章は先に再生されたからあの叩きつけるピアノはないなあとちょっとさびしい気持ちで聴いていたら、第二楽章が静かに静かに終わった後、その余韻の中でいきなり叩きつけるようなビートルズのLong tall Sallyが!! 突然の、青空をつんざくような爽快なボールのシャウトにびっくりしたが、うん、これも良い！ なかなかの組み合わせである。意図的に再現しようとする面倒くさいがこんな偶然もまんざらではない（結局第二楽章の後の静寂と緊張を解放するのは叩きつけるような曲なら何でもよかったのか!?)。

今年はベートーベン生誕250年、ビートルズ結成60年（解散後50年）である。一年間続くビートルズ特番も始まった。ベートーベンの特番は知らないが、時折車の中に流れるクラシックに思わず聞き惚れることもある。霧島の新緑の中を走っているとき、ラベルのボレロが流れしてきた。クラシックでは一番官能的な（と自分では思っている）この曲を、後半は窓を全開にして清々しい風に吹かれながら、一人山の中の生命溢れる春に浸り切った。木漏れ日の中をゆったりと走る時はバッハの無伴奏チェロ組曲が良く似合う。ボレロは往年の名車ホンダプレリユードの、チェロ組曲はクラウンのCMに使われたこともある曲である。意図的な選曲もよいが、ランダム再生で偶然にも前後の楽曲や情景とマッチングする曲に出会うのも中々捨てがたい。



日本の肝硬変の病因の変遷

宮崎市 宮崎医療センター病院 ^{う と ひろ ふみ}
宇 都 浩 文

C型肝炎による肝硬変は近年減少し、非B非C型肝硬変が増加していると言われています。学会報告などが根拠になっています。1983年に日本消化器病学会で初めて肝硬変の成因別分類がテーマとして取り上げられ、その後、日本肝臓学会において定期的に同じような内容が検討されています。2018年6月に開催された第54回日本肝臓学会総会でのポスターシンポジウム「肝硬変の成因別実態」の発表演題をまとめたものは、日本消化器病学会欧文誌に最近掲載されました。79施設から発表された肝硬変患者（N=48621）の病因をまとめたものです。全体を解析したデータでは、HCV感染が日本における肝硬変の主要な原因であり（48.2%）、その他にアルコール性肝障害（19.9%）、HBV感染（11.5%）が多い原因でした。更に、経時的なデータが十分ある36施設からの発表のみで検討すると（N=18358）、肝硬変の病因の推移に関して、ウイルス性肝炎関連肝硬変は2007年以前には73.4%であったものが、2014年以降は49.7%に低下していました。一方、非ウイルス性であるアルコール関連肝疾患と非アルコール性脂肪肝炎（NASH）による肝硬変は顕著に増加していました（それぞれ13.7から24.9%と2.0から9.1%に増加）。今後もこの傾向は続くと思われる、肝硬変の合併症として最も注意が必要な肝臓に関しては、HCVもしくはHBV関連肝臓病が減少し、非ウイルス性肝臓病患者は増加することも予想されています。

当院での肝疾患診療においても、上記と同様の傾向で、C型肝硬変を含むHCV関連肝疾患は減少傾向ですが、実数としてはまだ多いのが現状です。最近の私の外来（毎週月曜日）を初

診されたC型肝硬変患者を紹介します。①かなり前にインターフェロン治療を検討されるも効果が期待できないとして、その後の通院を自己中断され、門脈腫瘍塞栓をとまう進行肝臓病の状態を受診された60歳代男性、②抗ウイルス治療を勧められていたものの肝臓専門医を長く受診していなかった70歳代男性、③婦人科癌の術前検査でHCV感染を指摘された50歳代女性、④吐血で入院されたアルコール性肝障害の合併のある60歳代男性。①は治療困難、②は代償性肝硬変で抗ウイルス剤治療予定、③は代償性肝硬変で術後に抗ウイルス剤治療予定、④は非代償性肝硬変で抗ウイルス剤治療予定、となっています。

抗HCV治療に至っていないC型肝硬変患者さんはまだ多く潜在している可能性があります。また、非ウイルス性肝疾患はウイルス性肝疾患よりは肝発癌のリスクは低いものの、非代償性肝硬変への進展のリスクは十分あります。肝硬変の原因や死因は変遷するものの、肝不全を含む肝疾患全体の予後という観点では、肝疾患の死亡患者数は、今後それほど減少しないかもしれません。

冷やし中華はじめました

高鍋町 医療法人愛生堂 ^{さか た もろ みち}
坂田病院 坂 田 師 通

医者になって6年目、私は水曜日の夜は東京郊外の老人病院で当直をしていました。私が到着すると、遅番の常勤の先生が申し送りをしてくださるのですが、6月からは新しく入職された私と同年代の女性医師（以下S子先生と呼びます）になりました。「私がS子です。小児科

です。内科外来に『小児科はじめました』と張り紙がしてあったでしょう。何か冷やし中華はじめましたみたいです」と無邪気に笑われました。

私が当直する日、巨人戦があると彼女は必ず医局のテレビでナイターを見ていました。その病院では当直医は医局のソファを自分でベッドメイキングするシステムでしたので、彼女がいると寝る準備ができなくなり、毎回ナイター観戦に付き合うこととなりました。当時リレーナイターと言って9時ごろまでに試合が終わらないと日本テレビから9時以降は別のチャンネルでナイター放送を行っていましたので、試合が長引けば長引くほど私の就寝時間は遅くなるのでした。

S子先生は高校時代から原辰徳選手の大ファンであり、追っかけもやっていたそうで、お父様から「そんなことをやっていたら大学に落ちるぞ」と言われたそうですが、見事有名公立大学に現役で合格され、「私が医者になれたのは原選手のおかげです」と国家試験の発表の日にお父様に申し上げられたそうです。原選手が活躍して巨人が勝つと「もう一度、あの場面が見たい」と言って11時過ぎのプロ野球ニュースまで医局に残っておられたり、時には午前0時ごろのスポーツニュースまで見て帰られたので、当時昼間は診療、夜は実験と真面目に働いてお

り寝当直を唯一の楽しみにしていた私にとっては大変な迷惑でした。

10月末か11月初めの日本シリーズも終わったころ、当直に行くとS子先生ではなく別の常勤の先生が遅番でした。S子先生は体調を悪くして休んでおられるとのことでしたが、その後S子先生に会うことなく、クリスマス前にはS子先生はその病院を退職され、内科外来にあった「小児科はじめました」の張り紙もなくなりました。

ラーメン屋に「冷やし中華はじめました」の張り紙を見るたびに私はS子先生のことを思い出し、監督として活躍されている原辰徳氏をS子先生は今でもどこかで熱狂的に応援されているのだろうと思います。当直に行った時には死亡診断書が書いてあって日付と時刻を記入すればよいような老人病院のシステムは不快なもので、その病院での当直は私にとって楽しいものではありませんでしたが、S子先生とナイターを見ながら一緒に過ごした時間と野球談議（私はアンチ巨人）は、今でも良い思い出として残っています。冷やし中華は、私の心をなぜか少しだけ切ないものにしてしまいます。



お知らせ

カット、イラストの募集

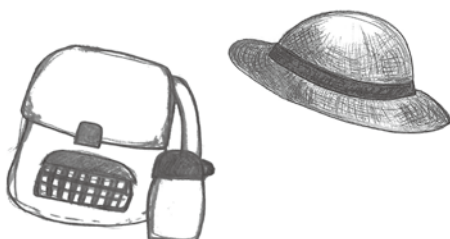
日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

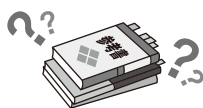
なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101
genko@miyazaki.med.or.jp





あなたできますか？

—令和元年度 医師国家試験問題より—

(解答は43ページ)

1. 掌蹠多汗症について誤っているのはどれか。
 - a 精神性発汗は亢進する。
 - b 汗腺の数が増加している。
 - c 真菌や細菌の感染を起こしやすい。
 - d 治療にはイオントフォレーシスが用いられる。
 - e Minor法はヨードデンプン反応を利用した検査法である。
2. 頭蓋内血管による脳神経の圧迫で起こるのはどれか。
 - a 片頭痛
 - b 三叉神経痛
 - c 本態性振戦
 - d Parkinson病
 - e 側頭葉てんかん
3. 1週間からの左上下肢のしびれを主訴に60歳の男性が来院した。
原因として脳梗塞を最も示唆するのはどれか。
 - a 「以前に同じような症状があった」
 - b 「症状の出現は突然であった」
 - c 「症状の変動はなかった」
 - d 「頭痛は伴わなかった」
 - e 「発熱はなかった」
4. 溶血性貧血でみられるのはどれか。
 - a 黄疸
 - b 徐脈
 - c 匙状爪
 - d 眼球突出
 - e 拡張期心雑音
5. 労働災害補償保険について正しいのはどれか。
 - a 通勤災害は含まれない。
 - b 保険者は市町村である。
 - c 労働災害の認定は厚生労働大臣が行う。
 - d 保険料は労働者と事業者の両方で負担する。
 - e 保険療養費は被災労働者の自己負担はない。
6. 食中毒について正しいのはどれか。
 - a 食中毒患者を診断したとき保健所長に届け出る。
 - b サルモネラ菌による食中毒で発熱を起こすことはない。
 - c 黄色ブドウ球菌食中毒の予防には食品の食前加熱が有効である。
7. 高齢者において霰粒腫との鑑別を要するのはどれか。
 - a 脂腺癌
 - b 乳頭腫
 - c 麦粒腫
 - d 基底細胞癌
 - e ぶどう膜腫瘍
8. 68歳の女性がS状結腸切除術を受けた。
合併症として膿瘍形成が最も起こりやすいのはどれか。
 - a 右横隔膜下
 - b 左横隔膜下
 - c 右傍結腸溝
 - d 左傍結腸溝
 - e 直腸子宮窩
9. 42歳の女性。発熱および悪寒戦慄が出現し、ぐったりしていたため家人に連れられて来院した。昨日の夕方に悪寒戦慄を伴う発熱が出現したため受診した。咽頭痛、咳、痰および鼻汁はない。悪心、嘔吐、腹痛および下痢はなく、頻尿や排尿時痛もない。周囲に同様の症状の人はいない。小児期からアトピー性皮膚炎があり、数日前から皮膚の状態が悪化し全身に痒痒感があり掻破しているという。意識レベルはJCS I-2。体温39.2℃。脈拍112/分、整。血圧86/58mmHg。呼吸数28/分。心音と呼吸音とに異常を認めない。口腔内と咽頭とに異常を認めない。両側背部の叩打痛はない。顔面、体幹部、両側上肢および両側膝の背面部で紅斑、色素沈着、鱗屑および落屑を認める。また、同部に多数の掻破痕および一部痂皮を認める。
最も適切な検査はどれか。
 - a 尿培養
 - b 血液培養
 - c 喀痰Gram染色
 - d 麻疹抗体価測定
 - e インフルエンザ迅速検査

エコー・リレー

(540回)

(南から北へ北から南へ)

ミニマリズムのススメ

新富町 おおやまこどもクリニック おお やま りゅう すけ
大 山 龍 介

最近、佐々木典士著「ぼくたちに、もうモノは必要ない。－断捨離からミニマリストへ－」という本を読んだ。私は整理整頓が苦手で、予定管理も自分ではできない。世の

中には情報やモノが溢れ過ぎていて、頭の中がいつもゴチャゴチャしている。モノだけではなく、情報を整理するヒントになるのではないかと思ひ手に取った本だ。筆者によるとミニマリズムを意識すると、自分に必要なモノの基準がはっきりするため、あらゆるメディアや広告に惑わされる時間、買い物の時間、無駄遣いが減る。またミニマリストの部屋は無駄なモノがなくスッキリしているため、気が散ることなく仕事に集中できる。すべてのモノを一望できるため、忘れ物や探し物もなくなる。これこそ私が目指すところだ。

筆者の「1年使わなかったら捨てる」、こんまり（近藤麻理恵）さんの「ときめかないモノは捨てる」を参考に断捨離開始。まず手始めに旅行先で買った大量のお土産、何年も着ていない（着られない）洋服を処分した。スペースができた部屋を見て、初めてコンタクトをつけたときのような、未来まで明るくなったような気持ちになった。ただ、若かりし日に奮発して買ったジャケットは手放せなかった。未練はないが、妻が「冬服はね、冬に売ると高く売れるよ」と言ったからだ。ミニマリストの世界では「考えるな、感じろ」ならぬ「考えるな、捨てる」らしい。まだまだ修行が足りない。

[次回は、宮崎市の安部 なつみ先生をお願いします]

無の境地

宮崎市 宮崎中央ふかお ふか お さとる
透析内科クリニック 深 尾 理

仏教徒でなく、座禅を組むわけでもない、まして自身を極限まで高めるアスリートや芸術家でもない私にとって、無の境地がどのようなものなのか、想像の域

を出ない。少し調べてみると、雑念を払い、迷いをなくし、煩悩や恐怖から解き放たれ、自他の境界がない安らいだ状態であり、困難の前にも平常心を保っていられるという。それすなわち、魂の修行の末に辿り着ける至上の精神状態ではないのかと思う。

日々を過ごすことに精一杯の私が、一体どれくらいの時間をかければ、どのような鍛錬をすれば、無の境地を実感できるだろう。仕事で悩み、子どもにイライラし…迷いだらけである。

そんな私が、もしかして無の境地の疑似体験なのではないかと思っているのは、露天風呂に浸かっているときである。身体を包みこむ少しぬるめの湯、岩肌に背を預けて見上げる空、目を閉じて吸い込む冷えた新鮮な空気、風に揺られている微かな葉音。自分が何者でもなく、何も持たず、まさに「無」を実感するひとときだ。

何もかも忘れて熱中することは極端に減ったが、いつか、心は無にして子どものようにはしゃぎながら温泉巡りをするような、ピーターパンおじさんになりたいと思っている（本気の無の境地はたぶん不可能）。

[次回は、宮崎市の上別府 豊治先生をお願いします]

宮崎県感染症発生動向 ～6月～

令和2年6月1日～令和2年6月28日（第23週～第26週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核17例（男性7例・女性10例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症2例：宮崎市，日南保健所管

内から報告があった。年齢は10歳代及び40歳代であった。1例は無症状病原体保有者であった。もう1例の主な症状として腹痛，水様性下痢，血便，発熱がみられた。原因菌のO血清型はO157（VT1VT2），O91（VT1）であった。

4類：○E型肝炎1例：日向保健所管内から報告があった。70歳代男性で，主な症状として発熱，黄疸，肝機能異常，肝腫大がみられた。

○日本紅斑熱1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，ダニの刺し口が確認できた。主な症状として発熱，頭痛，発疹，DIC，肝機能異常がみられた。

○レジオネラ症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代及び60歳代で，病型はいずれも肺炎型であった。主な症状として発熱，肺炎がみられた。

5類：○後天性免疫不全症候群1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で，病型はAIDS，指標疾患はニューモシスティス肺炎，サイトメガロウイルス感染症（肺，脾，リンパ節以外）であった。主な症状として呼吸苦，発熱がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で，主な症状として発熱，菌血症がみられた，ワクチン接種歴は不明であった。

○水痘（入院例）1例：宮崎市保健所管内から報告があった。0～4歳で，主な症状として発熱，発疹，熱性痙攣がみられた。ワクチン接種歴はなかった。

○梅毒1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代の男性で，病型は早期顕症梅毒Ⅰ期であった。主な症状として初期硬結がみられた。

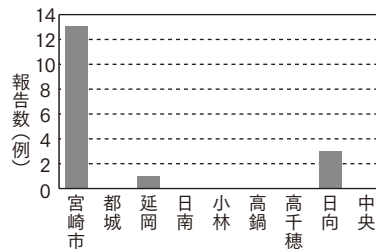


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	5
その他の結核 (結核性胸膜炎)	1
無症状病原体保有者	11

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	2
30歳代	5
40歳代	2
50歳代	2
60歳代	1
70歳代	2
80歳代	2
90歳代	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,260人（定点あたり35.6）で，前月の141%，例年の35%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で，減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は特になかった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は308人（8.6）で前月の約1.6倍，例年の約0.7倍であった。日南（22.7），宮崎市（14.6）保健所からの報告が多く，3～5歳が全体の3

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
細菌	<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	1
	<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4:i:1,2)	2
	<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	3
	<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	2
	<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	1
	EPEC (OUT:HUT)	1

割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は653人（18.1）で前月の約1.5倍、例年の約0.6倍であった。小林（30.0）、日向、中央（26.0）保健所からの報告が多く、6ヵ月～3歳が全体の約半数を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向 〈2020年6月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人（2.9）で、前月比112%と増加した。また、昨年6月（3.1）の95%であった。

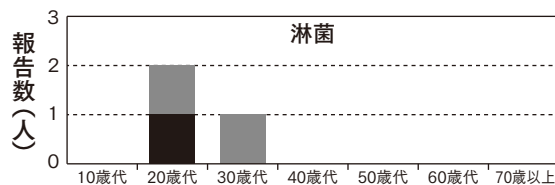
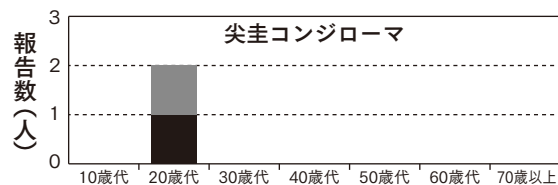
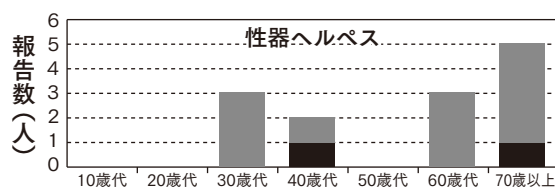
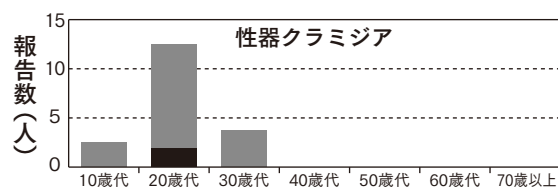
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数20人（1.5）で、前月の約1.3倍、昨年6月の約0.7倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。（男性2人・女性18人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数13人（1.00）で、前月の約1.2倍、昨年6月の約4.3倍であった。（男性2人・女性11人）

○尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月と同じ、昨年6月の約0.7倍であった。（男性1人、女性1人）

○淋菌感染症：報告数3人（0.23）で前月の0.5倍、昨年6月の約0.4倍であった。（男性1人、女性2人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は13人（1.9）で、前月比87%と減少した。また、昨年6月（2.1）の87%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：

報告数13人（1.9）で、前月の約0.9倍、昨年6月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2020年6月		2020年5月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	1	0.0	0	0.0	
咽頭結膜熱	73	2.0	62	1.7	
※溶レン菌咽頭炎	308	8.6	192	5.3	
感染性胃腸炎	653	18.1	439	12.2	
水痘	28	0.8	24	0.7	
手足口病	17	0.5	18	0.5	
伝染性紅斑	7	0.2	12	0.3	
突発性発しん	144	4.0	135	3.8	
ヘルパンギーナ	12	0.3	10	0.3	
流行性耳下腺炎	13	0.4	14	0.4	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	4	0.7	0	0.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

児 湯 医 師 会

(令和2年6月25日定時総会終結後～

令和4年6月定時総会終結時)

会 長	永 友 和 之
副 会 長	蟻 塚 高 生
理 事	大 森 史 彦
”	黒 木 宗 俊
”	坂 田 師 隣
”	米 澤 勤
”	高 山 修 二
”	糸 井 仁
”	永 友 淳 司
”	山 口 政 一 朗
”	野 津 手 大 輔
”	押 川 克 久
”	永 友 研 一
”	谷 昌 満
監 事	崎 濱 國 治
”	内 田 俊 浩
議 長	北 村 洋
副 議 長	吹 井 聖 継

西都市西児湯医師会

(令和2年6月29日定時総会終結後～

令和4年6月定時総会終結時)

会 長	松 本 英 裕
副 会 長	大 塚 康 二 朗
”	黒 木 重 晶
”	鶴 田 明 土
理 事	上 野 尚 美
”	上 山 裕 史
”	片 山 陽 平
”	杉 尾 克 徳
監 事	相 澤 潔
”	岩 見 晶 臣

議 長	大 塚 和 子
副 議 長	河 野 立

南 那 珂 医 師 会

(令和2年5月29日定例総会終結後～

令和4年6月定例総会終結時)

会 長	中 村 彰 伸
副 会 長	河 野 秀 一
”	川 西 昭 人
理 事	山 見 信 夫
”	黒 木 和 男
”	山 口 幹 生
”	中 津 留 邦 展
”	峰 松 俊 夫
”	木 佐 貫 篤
”	福 岡 周 司
”	加 藤 久 仁 彦
”	飛 松 正 樹
監 事	津 曲 俊 郎
”	満 留 武 宣
議 長	百 瀬 文 教
副 議 長	井 手 秀 幸

西 諸 医 師 会

(令和2年6月26日定時総会終結後～

令和4年6月定時総会終結時)

会 長	内 村 大 介
副 会 長	園 田 定 彦
”	井 尻 裕 司
理 事	吉 村 雄 樹
”	坪 内 斉 志
”	河 内 謙 介
”	堀 英 昭
”	石 澤 宗 純
”	竹之内 剛

理 事	寺 谷 威
”	川 井 田 望
監 事	高 崎 直 哉
”	丹 光 明
議 長	志 戸 本 宗 徳
副 議 長	槇 健 一 郎

西 臼 杵 郡 医 師 会

(令和2年6月1日定時総会終結後～

令和4年5月31日定時総会終結時)

会 長	植 松 昌 俊
副 会 長	佐 藤 元 次 郎
議 長	古 賀 志 朗
理 事	久 米 修 一
”	塩 月 康 弘
”	崔 林 承
”	押 方 慎 弥
”	佐 藤 祐 二
監 事	興 梶 知 子

宮崎大学医学部医師会

(令和2年6月3日～

令和4年6月教授会まで)

会 長	鮫 島 浩
副 会 長	中 里 雅 光
理 事	帖 佐 悦 男
”	荒 木 早 苗
”	東 野 哲 也
”	鈴 木 斎 王
監 事	竹 島 秀 雄
”	落 合 秀 信

各都市医師会だより

宮崎市郡医師会

会 長 かわ 川 な 名 たか 隆 し 司

6月27日の定時総会後に開催された理事会において、会長以下の役職が承認され5期目がスタートしました。今期は、済陽副会長が勇退され代わりに原田理事が副会長に就き、新たな理事として猪島医院の内野先生が加入しました。内野先生は外科が専門で、認知症サポート医として在宅医療などに積極的に取り組んでおられます。当執行部の久々の若手として期待しています。

本会諸施設の新築集約移転工事は6月に竣工し、8月1日から新体制がスタートしました。その中心となるのは新医師会病院であり、3つのコンセプトを掲げました。1つ目は「広域重症型急性期医療」です。宮崎市郡のみならず、九州自動車道を介して、周囲の2次医療圏からの急患にも積極的に対応したいと思います。2つ目は「循環器内科疾患の最新医療」です。当院心臓病センターにおける平成30年度の急性心筋梗塞の退院患者数は2,108名で、これは全国8位の症例数です。TAVI、クライオバルーンアブレーション、マイトラクリップなどの最新医療を駆使し、県医療計画に示された医療提供体制構築の一翼を担う所存です。3つ目は「医療防災ゾーンの機能」です。南海トラフ地震・津波の際には、宮崎市の防災支援拠点の役割を果たし、DMAT・JMATや自衛隊の活動を支援、医・歯・薬・看護が協働しながら被災者を救護する区域として機能させたいと思います。

また8月より、牛谷理事を中心に宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センターを立ち上げました。目的は、在宅医療と介護サービスを一体的に提供し、医療機関と介護事業所などの連携を進めることです。宮崎市とタイアップし、地域包括ケアシステムの充実に貢献したいと考えています。

COVID-19対策の一つとして、7月から本会検査センターにPCR機器を導入しました。宮崎市保健所、県衛生環境研究所とともに、夜間や休日などの検査依頼にも対応できればと思います。この先は、社会が「新しい生活様式」を受け入れたように、我々の分野も「withコロナの新しい医療体制」への転換を図っていくことが肝要ではないでしょうか。本会の新しい諸施設が、そのサポートに寄与できれば幸いです。



宮崎市郡医師会新役員

役員等名簿（任期 令和2年6月27日定時総会終結後～令和4年6月定時総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	川名 隆司	外科, 消化器外科, 小児外科, 内科, 消化器内科, リハビリテーション科	川名クリニック	総括
副会長	山村 善教	内科, 神経内科, リハビリテーション科	山村内科	検査センター, 地域包括ケア推進センター, 産業医, 医師連盟, 医師会病院, 地域医療Ⅲ(救急・災害), 夜間急病センター(内科・外科), 審査基準公開, 県医師会(副会長)
〃	高村 一志	小児科	たかむら小児クリニック	学校保健, 地域保健Ⅱ(母子・小児), 地域医療Ⅱ(小児), 勤務医, 新臨床研修医制度・医師確保, 学術・健康教育・生涯教育, しのめ, 会員広報・情報システム, 夜間急病センター(小児科), 会計
〃	原田 雄一	内科, 循環器内科	原田内科クリニック	看護専門学校, 地域保健Ⅰ(成人・介護), 地域医療Ⅰ(成人), 医事紛争, 庶務・在宅医・開業相談・労働保険・会報, 社保・国保, 会員福祉・共済・慶弔, 労務
理 事	菊池 郁夫	内科	県立宮崎病院	勤務医, 新臨床研修医制度・医師確保学術・健康教育・生涯教育, 地域保健Ⅱ(母子・小児), 地域医療Ⅱ(小児)
〃	尾田 朋樹	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	尾田整形外科医院	医師連盟, 会員広報・情報システム, 医事紛争, 医師会病院, 地域医療Ⅲ(救急・災害)
〃	市来 能成	内科, 循環器内科, 消化器内科	市来内科・外科医院	庶務・在宅医・開業相談・労働保険・会報, 医師会病院, 地域医療Ⅲ(救急・災害), 医師連盟
〃	牛谷 義秀	外科, 内科, 消化器内科, 消化器外科, 肛門外科, 整形外科, リハビリテーション科, 放射線科	クリニックうしたに	地域保健Ⅰ(成人・介護), 地域医療Ⅰ(成人), 地域包括ケア推進センター, 新臨床研修医制度・医師確保
〃	神尊 敏彦	産婦人科	神尊産婦人科	医事紛争, 労務, 地域保健Ⅱ(母子・小児), 地域医療Ⅱ(小児), 会員福祉・共済・慶弔, 会計
〃	田中 宏幸	内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 循環器内科, 小児科	神宮医院	社保・国保, 夜間急病センター(内科・外科), しのめ, 検査センター, 産業医
〃	首藤 謙二	精神科	西都病院	会員福祉・共済・慶弔, 産業医, 労務, 勤務医
〃	弘野 修一	内科, 消化器内科	ひろの内科クリニック	看護専門学校, 検査センター, 審査基準公開, 学校保健
〃	玉置 昇	内科	たまきクリニック	看護専門学校, 学校保健, 会計, 学術・健康教育・生涯教育, 夜間急病センター(小児科), 県医師会(理事)
〃	白尾 一定	外科, 消化器外科, 乳腺外科, 呼吸器外科, 気管食道外科	JCHO宮崎江南病院	看護専門学校, 審査基準公開, 社保・国保, 夜間急病センター(内科・外科)
〃	内野 竜二	外科, 内科, 消化器外科, 消化器内科, 放射線科, 肛門外科	猪島医院	地域保健Ⅰ(成人・介護), 地域医療Ⅰ(成人), 庶務・在宅医・開業相談・労働保険・会報, 地域包括ケア推進センター, しのめ, 会員広報・情報システム
監 事	中山 健	泌尿器科, 皮膚科 アレルギー科	中山医院	
〃	桑原 正知	循環器内科, 外科, 心臓血管外科	くわばら医院	
〃	楠元 直	胃腸科, 内科, 放射線科	楠元内科胃腸科医院	
議 長	谷村 俊次	整形外科, リハビリテーション科	谷村整形外科医院	
副議長	丸田 眞一	胃腸科, 外科, 内科, 整形外科 リハビリテーション科, 肛門科	丸田医院	
顧 問	綾部 隆夫	内科, 循環器内科	綾部医院	
〃	中村 典生	外科, 内科, 消化器内科, 肛門外科	加納中央医院	

各都市医師会だより

都城市北諸県郡医師会

会 長 ^た田 ^{ぐち}口 ^{とし}利 ^{ふみ}文

5月の社員総会により、会員皆様の承認をいただき会長として二期目を担当させていただくことになりました。副会長に檜原進一郎先生、長倉穂積先生、伊達晴彦先生、総務理事に久保田秀紀先生に就任いただきました。新型コロナウイルス感染症という今までに経験のない病気の拡大を防ぎながら、断らない医療を維持し、必要な患者さんの手術や治療に遅れがでないようにする。大変難しい課題ですが、医師会会員はもちろん職員一同、医師会全体で取り組んでいかなければならないと考えております。

県は2025年地域医療構想の中で、当地域の高度急性期病床の不足を指摘しております。必要数の218床に対して現状は45床で、地域住民はとても不安を感じる状況です。厚労省もCOVID-19感染重症者受け入れで、全国的なICUの不足を認めていますが、当地域は更に遅れていると言えます。今後、高度急性期病床の確保と高度医療を担う診療科の充実および医療機器の整備は不可欠と考えます。医師、看護師など人的資源に乏しい地域での体制の整備は、大変難しいと考えられますが、地域完結型の医療の提供を目指して頑張っていきたいと考えております。

先生方の更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、当医師会主催で開催する予定でした九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会は、新型コロナウイルス感染症のため中止することに決定いたしました。お力添えいただきました皆様に深く感謝いたします。



都城市北諸県郡医師会新役員

役員等名簿（任期 令和2年5月27日の定時社員総会終結後～令和4年5月定時社員総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	田口 利文	循環器科・内科	田口循環器科・内科クリニック	会務総括, 全施設総括, 医師会病院総病院長（兼病院長）, 渉外
副会長	榎原進一郎	皮膚科	ならはら皮膚科医院	会務総括補佐, 担当副会長（医師会病院・管理）, 看護専門学校校長, 渉外
”	長倉 穂積	内科	長倉医院	会務総括補佐, 健康サービスセンター所長, すこやか苑副施設長
”	伊達 晴彦	循環器内科・内科	伊達クリニック	会務総括補佐, 担当副会長（医師会病院・診療）, 夜間急病センター所長
総 務 事	久保田秀紀	眼科	くぼた眼科	総務, 労務管理, 医師連盟, 自賠責, 広報, 開業相談, 定款諸規程, 医事紛争
理 事	瀬ノ口洋史	内科・消化器科	瀬ノ口醫院	訪問看護ステーション担当理事, 県医師会常任理事, 介護保険（主）
”	大橋 剛	内科・消化器科・リハビリテーション科	大橋クリニック	医療情報システム, 学術生涯教育（主）, 健康教育（主）, 保険診療（主）
”	濱田 圭一	外科・内科・消化器科	はまだクリニック	医師会病院担当理事, 医療保険, レセプト査定対策, 保険診療（副）
”	義川剛太郎	麻酔科・整形外科・内科	よしかわクリニック	訪問看護ステーション所長, 医師会病院副担当理事（緩和ケア）, 総務（副）, 介護保険（副）, スポーツ医学
”	高城 健司	精神科・神経科・心療内科	たき心療内科クリニック	会計管理（総括）, 勤務医部会, 介護保険（副）, 医苑（主）, 労務福祉, 地域医療マスタープラン, 健康教育（副）, 学術生涯教育（副）
”	隅 清克	内科・消化器科・胃腸科	隅病院	病院部会, 産業医部会, 労災医部会, 地域産業保健センター
”	永吉 義治	眼科	永吉眼科医院	看護専門学校副校長（管理部長）, 会員福祉, 苦情処理, 医苑（副）
”	丸山 浩一	小児科	沖水こどもクリニック	学校保健・検診, 乳幼児保健, 学校医部会, 夜間急病センター副担当理事
”	森山 拓造	脳神経外科	もりやま脳神経外科	夜間急病センター担当理事, 医師会病院副担当理事, 災害・感染症対策, 救急医療（主）
”	福島 義隆	内科・消化器内科・小児科	ふくしまクリニック	すこやか苑担当理事, 夜間急病センター副担当理事, 救急医療（副）, 福祉施設
”	江夏 剛	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	江夏整形外科クリニック	健康サービスセンター担当理事, 公衆衛生, 成人病検診, 救急医療（副）
監 事	坂元 一久	胃腸科・内科	坂元医院	
”	山内 良澄	小児科	山内小児科医院	
”	木村 健	内科・外科・小児科	原田医院	
議 長	三浦まり子	内科・小児科	共立医院	
副議長	田中 穰次	内科・胃腸科・小児科	久保原田中医院	

宮崎大学医学部だより

宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター



すずき むねお
鈴木 斎王 副病院長
センター長

平成12年10月地域医療
連携推進センターとして
発足以来20年となりまし
た。現在の人員体制は、
医師1名、看護師長1名、
前方支援（入院案内およ
び情報収集）に看護師7

名、事務員4名、後方支援（退院支援）に看護師7名、MSW9名、窓口業務として看護師2名、MSW2名が従事しています。更に同部屋に医療支援課（医療支援係、医療安全係など）が平成31年より発足し、協働しております。場所は、外来棟1階の診療受付の奥、西側立体駐車場から入ると通路中頃の右手に受付があります。現在、相談支援室も10室稼働しており、入院支援から退院支援に至ることはもちろん、医療、介護、福祉、がんなどの患者さんをめぐるさまざまな相談に応じています。

現在行っている主な業務は以下のとおりです。

1. 関連医療機関などとの入院・退院・転院などの連絡・調整
 - 1) 入院支援・病床管理（前方連携）
 - 2) 退院支援・退院調整（後方連携）
2. 医療、介護、福祉などの相談（患者サポート体制）に関わる業務
3. がん診療連携拠点病院に関わる業務や相談支援
4. 公費関係の業務
5. その他

今後患者さんがより快適に医療を受けられるように、さまざまな業務を拡大していく予定です。まだまだ、十分に患者支援を行えているわけではありませんが、温かく見守っていただければと思います。

がん患者さんが増える今日、当センターにがん相談支援センターを併設しており、当院の患者さんのみならず家族や院外の方々からの相談も受け付けています。また、がん患者・長期療養患者就労支援としてハローワークの相談員が毎週火曜日には常駐しています。このほかに、産業保健総合支援センターや宮崎県労働局とも連携して、患者さんが日常の生活を維持できるように取り組んでいます。本年より、がん相談支援専従看護師も復帰しましたので患者サロンも含め更に取組みを充実させる予定です。

その他の業務としては、MSWや診療情報管理士、事務員向けの医療スタッフの教育や実習生の受け入れも行っています。

皆様には転院や退院の際にお世話になっておりますが、更なるご支援をお願いいたします。更に、患者さんに最善の状態で高度医療を受けていただくように、疾病管理・栄養管理や口腔ケアなどご協力をいただきたく存じます。

センター長は宮崎県の医療資源調査事業（アドバイザー）、難病拠点病院事務局も行っており、情報提供や医療資源の適正配置など県の医療行政にも貢献しています。

専門分科医会だより

(皮膚科医会)



たじり あきひこ
田尻 明彦 会長

皮膚科医会では会員の知識向上のための勉強会を年に3回開催しています。また、一般の人々に皮膚疾患の重要性を認識してもらう目的で、市民向けの講演会、および待合室に貼るためのポスター作製を行っています。更に会員相互の親睦と

医会の記録を残す目的で会報を年に2回発行しています。以下に昨年度の実績と本年度の予定を記載します。

1. 勉強会

宮崎県皮膚科懇話会（宮懇会）と称して年に3回、県立宮崎病院講堂で開催しています。昨年度は古賀総合病院 副院長の緒方克己先生に、今までに先生が経験された貴重な症例を供覧していただきました。この会は宮崎大学皮膚科の医局員も参加可能ですので、若手の先生方には大いに勉強になったと思います。3回のうち1回は宮崎大学皮膚科の最先端の講演をお願いしており、今回は天野正宏教授に「当科で行っている創傷治療～熱傷から褥瘡、下腿潰瘍まで」という講演をしていただきました。本年度は日本臨床皮膚科医会学校保健委員長の島田辰彦先生に学校保健の講演をお願いしています。

2. 一般向けの講演会

日本臨床皮膚科医会では11月12日を「皮膚の日」と制定し、30年近く全国で講演会を行っています。宮崎県では2002年から出盛允啓先生にお願いしていますが、昨年度は「健康長寿のためにビタミン（13種）のことを精しく知ろう」という講演でした。毎回200名近くの入場者があり、これは全国でもトップクラスの入場者数となっています。本年度は九州医学会と連動して「土呂久公害」についての講演をお願いしています。

3. ポスター作製

患者に待合室で見ってもらうことのほかに、学校や保育園の先生、施設の責任者、他科の医師にも見てもらうという意図で作っています。ここ数年は、日本臨床皮膚科医会総会の展示でも報告しており、全国の皮膚科医に評価いただいています。昨年のテーマは「ほっとした皮膚病、ヒヤリとした皮膚病」でした（図1）。今年は「日光角化症」の予定です。

4. 会 報

「宮崎県皮膚科だより」という会報を年に2回発行しています。日向市の堀之内和代先生の4コマ漫画など、ユニークな記事が満載です。小林市の桑原淑子先生に毎回表紙の写真をお願いしていましたが、本年5月に亡くなられました。ご冥福をお祈りします。

現在の会員数は51名ですが、半数以上が60歳以上と高齢化しています。若い先生方の入会がなければ皮膚科医会の未来はありません。皮膚科の魅力を若い先生方に伝えるのも皮膚科医会の仕事だろうと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。



図1

第171回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）

と き 令和2年5月26日(火)

ところ 県 医 師 会 館

1 開 会

新しい代議員が選出され最初の代議員会となることから、本会定款施行細則第17条の規定により増田代議員（宮崎）が仮議長に選出され、出席代議員を確認したうえで代議員会の成立を宣言した。

続いて、議事録署名人に市来代議員（宮崎）と金丸代議員（宮崎）を指名し、議長、副議長の選挙に入った。

2 議長及び副議長選挙

候補者が定数と同数のため、選挙細則により投票を行わずに挙手で決議することを決定し、いずれも挙手32名（〔仮議長および当該候補者除く〕）により以下の2名を当選者と決定した。

議長当選者 松本 英裕（西都）

副議長当選者 内村 大介（西諸）

3 河野県医師会長挨拶

（要旨）新型コロナ対策などでご苦労されている中、お集まりいただき感謝申し上げます。緊急事態宣言も解除され、宮崎県内は比較的落ち着いているが、全国的にはまだ感染者が発生しており、第二波、第三波の襲来も懸念されている。オリンピックも延期となり、国中のあらゆる面で深刻な影響がでてい。そのような中で、本日の会合を持つか否かの判断に迷ったが、どうしても必要な会であることから、スペースを広くとり、短時間の予定でお集まりいただいた。諸般の事情をご理解いただきたい。

まず、はじめに高村常任理事が、5月1日から宮崎市郡医師会選出の県医師会代議員となったため、4月末日付けで「理事の辞任届」が提出され受理したことをご報告する。

本日は令和2年度の事業計画および予算に

ついてご報告させていただく。その後、次期理事の定数を決めていただき、定数内での理事および役員などを選んでいただく予定である。どうぞよろしくお願いいたします。

4 報 告

1) 令和2年度宮崎県医師会事業計画について

2) 令和2年度宮崎県医師会収支予算について

山村副会長が、定款第61条および同条第2項に基づき、3月10日の理事会で承認された事業計画および予算の説明を行った。

（要旨）「事業計画」は、昨年度までの取組みに加え、重点項目を2点追加した。「新型コロナウイルス感染症にともなう諸課題への対応」は、長期戦も覚悟し、各地域のおかれている状況や医療機関の要望を適切に把握し、各郡市医師会の皆様や県行政などと連携して、迅速に対応していく。また、「九州医師会連合会の担当県として総会・医学会などの円滑な開催」は、新型コロナの早期終息を願い、さまざまな状況や開催方法を想定し、7月からの1年間、担当県として怠りなきよう準備を進めていきたい。

予算は、公益法人の財務三基準「収支相償」、「遊休財産額」、「公益目的事業比率」を満たしたうえで、本年度の特殊要因である九医連担当や名簿発行などを加味した約4億2千万円の収支予算となっている。収支差額は、減価償却費を除く、資金ベースで約600万円の黒字を見込んでいる。

いずれにしても、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、皆様のご協力なしには、県医師会の事業は成立しない。今後ともご指導とご協力をお願いし、報告とさせていただきます。

5 協 議

1) 次期理事定数について

小牧常任理事が、理事数をこれまで同様23名とする案を提案し、定款施行細則第11条第3項の規定に基づき、審議の結果、賛成全員により次期理事数を23名とすることを決定した。

6 役員選挙

投票方法について

松本議長が、各選挙の候補者が定数と同数であるため、選挙細則第20条第1項の規定に基づき、「投票を行わずに挙手で決議する」ことおよび「複数の定員を選任する役職について一括して選任する」ことを提案し、いずれも全員の賛成（33名〔議長除く〕）で決定した。

また、選挙細則第1条第1項の規定に基づき、会長候補者、副会長候補者、理事、監事、裁定委員、日本医師会代議員、同じく予備代議員の順に選任することおよび各役職の任期を確認して選挙を行い、いずれも挙手全員により、1)～6)の当選者を決定した。

1) 会長候補者選挙（定数1名）

会長候補当選者（理事兼ねる）

河野 雅行（宮 崎）

2) 副会長候補者選挙（定数2名）

副会長候補当選者（理事兼ねる）

濱田 政雄（宮 崎）

山村 善教（宮 崎）

3) 理事選挙（定数20名）

理事当選者

園田 定彦（西 諸）

帖佐 悦男（宮大医）

赤須郁太郎（延 岡）

大塚康二郎（西 都）

米澤 勤（児 湯）

瀬ノ口洋史（都 城）

池井 義彦（西 諸）

峰松 俊夫（南那珂）

玉置 昇（宮 崎）

金丸 吉昌（日 向）

吉田 建世（延 岡）

小牧 斎（宮 崎）

荒木 早苗（宮大医）

石川 智信（宮 崎）

川野啓一郎（宮 崎）

佐々木 究（宮 崎）

岩村 威志（宮 崎）

嶋本 富博（宮 崎）

高木 純一（宮 崎）

上山 貴子（宮 崎）

4) 監事選挙（定数3名）

監事当選者

宮田 純一（延 岡）

小牧 文雄（都 城）

中村 周治（宮 崎）

5) 裁定委員選挙（定数11名）

裁定委員当選者

立山 洋司（西 諸）

石田 康（宮大医）

井上 博（延 岡）

宇和田 収（西 都）

永友 慶子（児 湯）

濱田 義臣（都 城）

島田 雅弘（南那珂）

楠元 正輝（宮 崎）

後藤 勇（宮 崎）

興梠 知子（西白杵）

青柳淳太郎（日 向）

6) 日本医師会代議員及び予備代議員選挙 （定数各4名）

日本医師会代議員当選者

濱田 政雄（宮 崎）

山村 善教（宮 崎）

吉田 建世（延 岡）

小牧 斎（宮 崎）

日本医師会予備代議員当選者

松本 英裕（西 都）

内村 大介（西 諸）

荒木 早苗（宮大医）

池井 義彦（西 諸）

7 当選役員挨拶

当選役員を代表して、会長候補者に選任された河野会長が挨拶を行った。

（要旨）次期執行部を選んでいただき心から感謝申し上げる。毎回申しているように医

師会の責務である地域医療と会員を守るために選んでいただいた役員を中心に、職員の協力を得ながら、全力を尽くす覚悟である。まずはコロナ対策をはじめとした諸問題に対してスピード感をもって取り組みながら、目前に迫っている九医連の準備を進めていきたい。今後2年間先生方には何かとご協力いただく場面が増えてくるのではないかと思うが、引き続きよろしく願いたい。

8 その他

1) 新型コロナウイルス感染症対応下での医療経営状況等の把握について (小牧常任理事)

(要旨) 医療経営状況などの把握についてお願いがある。今回の新型コロナウイルス感染症対応下で、オンライン診療の拡大などもあり、患者の受療行動などに大きな変化が生じている。会員の医療機関で、医療経営に支障を来している具体例、例えば「電話などで再診を求める依頼が多く、外来が減り経営を圧迫している」、「風評被害により患者が激減している」など、問題となっている例があれば県医師会にお知らせいただきたい。

9 議長閉会宣言

松本議長が円滑な進行に対するお礼を述べ代議員会を閉会した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

出席代議員

1 番 田口 利文
2 番 檜原進一郎
3 番 長倉 穂積
4 番 伊達 晴彦
5 番 久保田秀紀
6 番 佐藤 信博
7 番 平野 雅弘
8 番 牧野 剛緒
9 番 千代反田晋
10番 今給黎 承
11番 永友 和之
12番 松本 英裕
13番 中村 彰伸
14番 河野 秀一
15番 内村 大介
17番 植松 昌俊
18番 鮫島 浩
20番 中村 都英
21番 川名 隆司
22番 市来 能成
23番 牛谷 義秀
24番 尾田 朋樹
25番 金丸 禮三
26番 栗林 忠信

27番 神尊 敏彦
28番 高村 一志
29番 田中 俊正
30番 田中 宏幸
31番 中山 健
32番 成田 博実
33番 原田 一道
34番 原田 雄一
35番 増田 好治
36番 三宅 和昭
出席34名

出席役員

会 長 河野 雅行
副 会 長 濱田 政雄
” 山村 善教
常任理事 吉田 建世
” 小牧 斎
” 荒木 早苗
” 池井 義彦
” 金丸 吉昌
” 石川 智信
理 事 峰松 俊夫
” 川野啓一郎
” 佐々木 究
” 岩村 威志
” 米澤 勤
” 帖佐 悦男
” 嶋本 富博
” 園田 定彦
” 瀬ノ口洋史
” 赤須郁太郎
” 大塚康二朗
監 事 中村 周治
” 小牧 文雄
” 宮田 純一
出席23名

第172回宮崎県医師会定例代議員会（概要）

と き 令和2年6月20日(土)

ところ 県 医 師 会 館

1 開 会

松本議長が、代議員の定数および出席代議員を確認したうえで代議員会の成立を宣言した。

続いて議事録署名人に田中(俊)代議員（宮崎）、成田代議員（宮崎）を指名した。

2 河野県医師会長挨拶

（要旨）先日の臨時代議員会では次期執行部を選出いただき、今回が現執行部の最後の代議員会となる。2年間大過なくこれたのも先生方のご協力の賜物と感謝したい。

本日は令和元年度の決算などを協議していただく重要な会議である。本来であれば十分な時間をとってご協議いただく必要があるのだが、新型コロナウイルス感染症対策のため、先に送付している資料を元に、短時間の開催を予定している。状況をご理解いただきご協力をお願いしたい。

3 報 告

1）令和元年度宮崎県医師会事業報告について

4 議 事

議案第1号 令和元年度宮崎県医師会収支決算に関する件

吉田常任理事が、定款第62条の規定に基づき6月2日の理事会で承認された収支決算の説明を行った。

（要旨）元年度決算は、新型コロナウイルス感染症により多少の影響もあったが、財務三基準の条件もすべて満たし黒字を確保できた。

まず、「決算総額」について、経常収益計は4億844万1,748円で、前年度決算比3.3%の減、経常費用計は3億9,424万8,602円で、前年度決算比1.3%の減となった。収益から

費用を差し引いた税引前増減額は1,419万3,146円の増で、法人税を差し引いた税引後増減額は1,412万2,146円となる。続いて指定正味財産は485万9,448円の減で、当期正味財産増減額は、926万2,698円増の黒字となる。また、減価償却費などを除いた資金ベースでも904万6,776円の黒字決算となっている。

次に当年度決算の主な増減要因について、収益は受取入会金が前年度比で426万円の減、医協事務費は200万円増の800万円。受託事業収益は760万円ほどの減、雑収益は360万円ほどの減である。費用は、職員退職給付費用が前年度比で420万円ほどの増となっている。会議費は360万円ほどの減、印刷製本費も360万円ほどの減、助成金は560万円ほどの減となっている。

続いて、財務三基準について、収支相償は2段階の基準を満たしている。また公益目的事業比率は69.9%で基準を満たしている。遊休財産は1年分の公益目的事業費用相当額を上回らないという基準があるが、こちらもクリアしている。ご審議をよろしく願いたい。

以上の説明が行われた後、監事を代表して中村監事から監査報告が行われ、採決の結果、議案第1号は、全員の賛成（33名〔議長除く〕）で原案どおり可決承認された。

議案第2号 令和3年度宮崎県医師会会費賦課徴収に関する件

吉田常任理事が、定款第21条に基づき、会費賦課徴収規程などのとおり令和3年度も令和2年度と同様の会費を徴収したいとの説明が行われ、採決の結果、議案第2号は、全

員の賛成（33名〔議長除く〕）で原案どおり承認可決された。

5 議長閉会宣言

最後に松本議長が「この定例代議員会の終結をもって現役員の任期が終わる」ことを告げ、定例代議員会の閉会を宣言した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

出席代議員

1 番 佐藤 信博
2 番 平野 雅弘
3 番 牧野 剛緒
4 番 千代反田晋
5 番 今給黎 承
6 番 永友 和之
7 番 松本 英裕
8 番 中村 彰伸
9 番 河野 秀一
10番 内村 大介
11番 井尻 裕司※
12番 植松 昌俊
13番 鯨島 浩
16番 川名 隆司
17番 市来 能成
18番 牛谷 義秀
19番 尾田 朋樹
20番 金丸 禮三
21番 栗林 忠信
22番 神尊 敏彦
23番 高村 一志
24番 田中 俊正
25番 田中 宏幸
26番 中山 健

27番 成田 博実
28番 白尾 一定※
29番 原田 雄一
30番 増田 好治
31番 三宅 和昭
32番 田口 利文
33番 檜原進一郎
34番 義川剛太郎※
35番 伊達 晴彦
36番 久保田秀紀

出席34名

※予備代議員

出席役員

会 長 河野 雅行
副 会 長 濱田 政雄
” 山村 善教
常任理事 吉田 建世
” 小牧 斎
” 荒木 早苗
” 池井 義彦
” 金丸 吉昌
” 佐々木幸二
” 石川 智信
理 事 峰松 俊夫
” 川野啓一郎
” 佐々木 究
” 岩村 威志
” 米澤 勤
” 帖佐 悦男
” 嶋本 富博
” 園田 定彦
” 瀬ノ口洋史
” 赤須郁太郎
” 大塚康二朗
監 事 中村 周治
” 小牧 文雄
” 宮田 純一

出席24名

第173回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）

と き 令和2年6月20日(土)

ところ 県 医 師 会 館

1 開 会

松本議長が、代議員の定数および出席代議員を確認したうえで代議員会の成立を宣言した。

続いて議事録署名人に田中(俊)代議員（宮崎）、成田代議員（宮崎）を指名した。



2 河野県医師会長挨拶

（要旨）新執行部となり第1回目の代議員会である。先日、選出いただいたように新執行部は少し役員の交代があり、新しい陣容で担当する。現在、新型コロナウイルス感染症については、宮崎県は小康状態を保っているが、第二波、第三波が懸念されている。コロナ対応は喫緊の課題であり、昨年の消費税増税に引き続き、全国的に影響がでている。特に経済的な打撃は大きく、医療機関も例外ではない。あるアンケートによると、ほとんどの医療機関が影響を受け、平均10%の減収となっているようである。診療科によっては30%とも、それ以上の影響を受けている医

療機関もある。このままでは医療機関が消滅するところもあり、地域医療崩壊に拍車をかけることになりかねない。県医師会では県に直接、あるいは日本医師会を通じて国に支援を要請している。それを受け県や国ではさまざまな形での支援策を打ち出してはいるが、支援対象の条件などが厳しく、今の形では使い勝手の悪い制度となっていることから、条件などの是正を要請したいと考えている。

地域医療をめぐるっては疎かにできない問題が山積している。その他の諸問題についても、新役員が一丸となって、先日の臨時代議員会で認めていただいた事業計画、予算に従い、慎重かつ迅速に対応していく。いずれにしても医師会活動の基本は、代議員をはじめとする先生方のご協力が必要不可欠である。

また、今年は、九州医師会連合会および九州医師会医学会の担当県となっている。先生方にはさまざまな面でお世話になり、ご苦勞をおかけすることになるが、どうぞよろしくお願いしたい。

3 報 告

1) 新役員紹介について

小牧常任理事が、第3回理事会で承認された新役員について、配布資料の新役員名簿を基に、次のとおり報告があった。

（要旨）5月26日の臨時代議員会で選出された河野雅行会長候補を会長に、濱田政

雄・山村善教副会長候補を副会長に選定した。

また、理事の中から吉田建世、小牧斎、荒木早苗、池井義彦、金丸吉昌、石川智信、瀬ノ口洋史、高木純一先生を常任理事に選定した。

4 協 議

1) 顧問・名誉会員委嘱の件について

小牧常任理事が、第3回理事会で協議した顧問および名誉会員の提案を行った。

(要旨) 定款第43条の規定に基づき、顧問・名誉会員は代議員会の決議を経て会長が委嘱することになっている。顧問については、元宮崎県医師会長の秦喜八郎先生と前宮崎県医師会長の稲倉正孝先生、名誉会員については、元宮崎医科大学長・宮崎医科大学名誉教授の森満保先生、松尾壽之先生、元宮崎大学長・宮崎大学名誉教授の住吉昭信先生、前宮崎大学長・宮崎大学名誉教授の菅沼龍夫先生を委嘱したい。任期は役員と同様、2年後の定例代議員会の終結の時までとなる。

以上の説明の後、審議の結果、賛成全員で、顧問2名と名誉会員4名を委嘱することが承認された。

2) 「新型コロナウイルス感染症のPCR検査について」 田口代議員(都城)

(質問要旨) PCR検査について、早くインフラを整備しなければということで、都城市北諸県郡医師会がPCR検査を行うようにした。県の予算はいつ執行されるのか。

また、厚労省が6月16日に、発症後2日目から9日目までの抗原検査で陰性であれば、陰性と認めて良いという指針を出したが、県はその方法を認めているのか。

濱田副会長と吉田常任理事が次のとおり回答した。

(濱田副会長 回答要旨) 4月の予算の時は、県は具体的にどのように執行するか検討されていない中で動き出した。今度の二次補正予算は、少なくとも7地区で検体採取ができるセンターを設け、早く検査結果が受け取れる体制を構築するために予算を確保したので、すぐにでも動きたいということであった。我が県は医療資源が乏しいので、第二波が来る前にしっかりした体制をつくり、迅速に結果がでるよう引き続き県に要請していきたいと考えている。

(吉田常任理事 回答要旨) 今まで抗原検査でマイナスであればPCR検査をする必要があったが、県は、国の指針通り2日～9日の間のものであれば、もうPCR検査は行う必要はないと考えているようである。

また、保険診療でPCR検査や抗原検査を行うためには、県と契約を行う必要があることから、県医師会が契約を代行するよう準備を進めている。

5 議長閉会宣言

最後に松本議長が円滑な進行への協力に謝辞を述べ、臨時代議員会の閉会を宣言した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

出席代議員

1 番 佐藤 信博
 2 番 平野 雅弘
 3 番 牧野 剛緒
 4 番 千代反田晋
 5 番 今給黎 承
 6 番 永友 和之
 7 番 松本 英裕
 8 番 中村 彰伸
 9 番 河野 秀一
 10番 内村 大介
 11番 井尻 裕司※
 12番 植松 昌俊
 13番 鯨島 浩
 16番 川名 隆司
 17番 市来 能成
 18番 牛谷 義秀
 19番 尾田 朋樹
 20番 金丸 禮三
 21番 栗林 忠信
 22番 神尊 敏彦
 23番 高村 一志
 24番 田中 俊正
 25番 田中 宏幸
 26番 中山 健
 27番 成田 博実
 28番 白尾 一定※
 29番 原田 雄一

30番 増田 好治
 31番 三宅 和昭
 32番 田口 利文
 33番 檜原進一郎
 34番 義川剛太郎※
 35番 伊達 晴彦
 36番 久保田秀紀

出席34名

※予備代議員

出席役員

会 長 河野 雅行
 副 会 長 濱田 政雄
 ” 山村 善教
 常任理事 吉田 建世
 ” 小牧 斎
 ” 荒木 早苗
 ” 池井 義彦
 ” 金丸 吉昌
 ” 石川 智信
 ” 瀬ノ口洋史
 ” 高木 純一
 理 事 峰松 俊夫
 ” 川野啓一郎
 ” 佐々木 究
 ” 岩村 威志
 ” 米澤 勤
 ” 帖佐 悦男
 ” 嶋本 富博
 ” 園田 定彦
 ” 赤須郁太郎
 ” 大塚康二郎
 ” 玉置 昇
 ” 上山 貴子
 監 事 中村 周治
 ” 小牧 文雄
 ” 宮田 純一

出席26名

令和2年度第77回宮崎県医師会総会

と き 令和2年6月20日(土)

ところ 県 医 師 会 館

小牧常任理事の司会により開会し、はじめに物故会員の先生方に対し黙祷を捧げ弔意を表した。

今回は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から表彰式を行わず、関係者のみ(役員および代議員)で縮小開催した。各種表彰・祝賀については総会資料への掲載及び記念品の発送をもって表彰に代えた。

◇物故会員(平成30年度総会以降)

椎 教次 先生(宮 崎)
高山 幸子 先生(宮 崎)
田爪 靖史 先生(宮 崎)
徳田 吉郎 先生(宮 崎)
小田 眞道 先生(宮 崎)
王丸 鴻一 先生(宮 崎)
森 善治 先生(都 城)
田中 昭彦 先生(都 城)
大久保和治 先生(都 城)
中村 権二 先生(延 岡)
杉本 潜 先生(延 岡)
兒玉三千男 先生(日 向)
高橋 政見 先生(児 湯)
谷村 教俊 先生(南那珂)
中島 昌文 先生(南那珂)
桑原 淑子 先生(西 諸)
白石 達史 先生(西臼杵)
早川潤太郎 先生(南那珂)

※ご遺族の希望により3名は非掲載

◇退任役員等表彰

前代議員会議長 鮫島 浩 先生(宮大医)
前常任理事 佐々木幸二 先生(都 城)
前常任理事 高村 一志 先生(宮 崎)
前理事 立元 祐保 先生(宮 崎)

◇永年勤続代議員表彰

山村 善教 先生(宮 崎)
渡邊 康久 先生(日 向)
山元 敏嗣 先生(南那珂)

本会表彰内規により、10年以上の代議員歴および満70歳に達した方を表彰するもので、上記3名の先生方を表彰した。

◇永年勤続職員表彰

県内の会員医療機関に30年以上勤務し、地域医療に貢献された方を表彰するもので、本年度の対象者46名の方を表彰した。

◇各種祝賀(高齢会員・各種表彰)

本会表彰内規により、米寿・喜寿をお迎えになる高齢会員(米寿12名、喜寿11名)および昨年度総会以降、叙位叙勲、大臣表彰、知事表彰等、県関係以上の各種表彰を受賞された44名の先生方を表彰した。

【高齢会員祝賀】

米寿会員 12名

(昭和8年1月1日～昭和8年12月31日生)

阿南 育男 先生(宮 崎)
楠元 正輝 先生(宮 崎)
竹尾 康男 先生(宮 崎)
名越 敏秀 先生(宮 崎)
秦 喜八郎 先生(宮 崎)
宮原 幸安 先生(宮 崎)
泉 公美 先生(延 岡)
富田精一郎 先生(延 岡)
松崎 寿子 先生(延 岡)
浦上 裕 先生(日 向)
茂木 晃 先生(児 湯)
大瀧 幸哉 先生(宮大医)

喜寿会員 11名

(昭和19年1月1日～昭和19年12月31日生)

栗林 忠信 先生(宮 崎)

中村 典生 先生(宮 崎)

八尋 克三 先生(宮 崎)

小山田義貴 先生(都 城)

加治木邦彦 先生(都 城)

西浦 征志 先生(都 城)

留守 健一 先生(西 都)

上田 正人 先生(南那珂)

川畠 尚志 先生(南那珂)

押領司光雄 先生(西 諸)

志戸本宗徳 先生(西 諸)

【各種表彰(章)】

(令和元年6月15日総会以降～令和2年度総会まで)

令和元年8月20日

学校保健および学校安全に関する県教育長表彰

大浦 福市 先生(宮 崎)

塩屋美代子 先生(宮 崎)

獅子目賢一郎 先生(宮 崎)

立元 祐保 先生(宮 崎)

津曲康一郎 先生(宮 崎)

花房 明憲 先生(都 城)

森山 篤志 先生(都 城)

山内 良澄 先生(都 城)

岡村 公子 先生(延 岡)

早田 泰英 先生(延 岡)

丸山洋一郎 先生(延 岡)

大久保史明 先生(日 向)

和田 徹也 先生(日 向)

大塚 和子 先生(西 都)

桑原 大祐 先生(西 諸)

益山 芳正 先生(西 諸)

令和元年9月9日

救急医療功勞により厚生労働大臣表彰

和田 徹也 先生(日 向)

令和元年9月9日

救急医療事業功勞により県知事表彰

重平 正文 先生(都 城)

米田 敬三 先生(延 岡)

佐藤 幸憲 先生(西 都)

小林市立病院 様(西 諸)

令和元年9月9日

産科医療功勞により厚生労働大臣表彰

渡邊 命平 先生(日 向)

令和元年10月1日

国民健康保険事業および介護保険事業功勞により国民健康保険中央会表彰

阿久根広宣 先生(宮 崎)

石川 智信 先生(宮 崎)

井上 雅文 先生(宮 崎)

津守伸一郎 先生(宮 崎)

令和元年10月15日

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

税所幸一郎 先生(延 岡)

富田精一郎 先生(延 岡)

令和元年10月24日

精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰

細見 潤 先生(宮 崎)

令和元年10月26日

精神保健福祉事業功勞により県知事表彰

松藤 正彦 先生(延 岡)

令和元年11月1日

日本医師会最高優功賞(在任6年都道府県医師会長)

河野 雅行 先生(宮 崎)

令和元年11月3日

保健衛生功勞により旭日双光章

八尋 克三 先生(宮 崎)

保健衛生功績により藍綬褒章

倉山 茂樹 先生(宮 崎)

令和元年11月21日

学校保健および学校安全に関する文部科学大臣
表彰

原田 一道 先生(宮 崎)

吉山 政敏 先生(都 城)

令和元年8月18日

公衆衛生功勞により県知事表彰
故・田爪 靖史 先生(宮 崎)

令和2年1月16日

公衆衛生功勞により県知事表彰
志々目栄一 先生(都 城)
渡邊 康久 先生(日 向)
大塚 和子 先生(西 都)

令和2年2月26日

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

矢野 良英 先生(都 城)

大久保史明 先生(日 向)

令和2年2月26日

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰

大窪 利隆 先生(都 城)

兒玉 健二 先生(西 都)

令和2年4月29日

保健衛生功勞により旭日双光章

濱砂 重仁 先生(宮 崎)

7月のベストセラー(宮崎県)

集計: 2020年7月1日~7月25日

1	気がつけば、終着駅	佐 藤 愛 子	中央公論新社
2	夢をかなえるゾウ④	水 野 敬 世	文 響 社
3	女帝小池百合子	石 井 妙 子	文 藝 春 秋
4	鼠異聞 [上]・[下]	佐 伯 泰 英	文 藝 春 秋
5	死という最後の未来	石 原 慎 太 郎	幻 冬 舎
6	還暦からの底力	出 口 治 明	講 談 社
7	疫病2020	門 田 隆 将	産経新聞出版
8	嫌われる勇氣	岸 見 一 郎	ダイヤモンド社
9	大河の一滴	五 木 寛 之	幻 冬 舎
10	空気を読む脳	中 野 信 子	講 談 社

宮崎県医師会理事業務分担

(令和2年6月20日～令和4年6月の定例代議員会最終時まで)

◎は主担当, ○は副担当

河野会長	濱田副会長	医 療 保 険	◎小牧常任理事○岩村理事・山村副会長・吉田常任理事 荒木常任理事・池井常任理事・金丸常任理事 石川常任理事・瀬ノ口常任理事・高木常任理事・川野理事 佐々木理事・嶋本理事・大塚理事・玉置理事
		学 術 ・ 生 涯 教 育	◎嶋本理事○小牧常任理事・金丸常任理事・帖佐理事
		健 康 教 育	◎岩村理事○帖佐理事・小牧常任理事・大塚理事・上山理事
		公 衆 衛 生	◎吉田常任理事○峰松理事・高木常任理事・嶋本理事・大塚理事
		産 業 医	◎瀬ノ口常任理事○川野理事・園田理事・大塚理事
		予 防 接 種	◎高木常任理事○峰松理事・上山理事
		会 員 福 祉	◎石川常任理事○園田理事・佐々木理事
		有 床 診 療 所	◎川野理事○佐々木理事・池井常任理事
		労 災 ・ 自 賠	◎川野理事○赤須理事
		ス ポ ー ツ 医 学	◎帖佐理事○池井常任理事・園田理事
		母子保健・母体保護	◎嶋本理事○高木常任理事・峰松理事・上山理事
		環 境 公 害 問 題	◎峰松理事○高木常任理事
		倫 理 ・ 自 浄	◎大塚理事○上山理事・佐々木理事
		医 事 紛 争	
		(医療事故調査関連)	◎荒木常任理事○吉田常任理事○小牧常任理事・山村副会長
		(医事紛争・苦情関連)	◎小牧常任理事・山村副会長・吉田常任理事・荒木常任理事
		死因究明・警察協力	◎玉置理事○米澤理事
山村副会長	河野会長	総 務	◎小牧常任理事○荒木常任理事・濱田副会長
		会 計	◎吉田常任理事・濱田副会長
		地 域 医 療	◎金丸常任理事○池井常任理事・濱田副会長・吉田常任理事 小牧常任理事・荒木常任理事・石川常任理事 瀬ノ口常任理事・高木常任理事・峰松理事・米澤理事 帖佐理事・園田理事・赤須理事・大塚理事・上山理事
		へ き 地 医 療	◎金丸常任理事○大塚理事・園田理事・赤須理事
		介 護 保 険	◎石川常任理事○瀬ノ口常任理事・荒木常任理事 金丸常任理事・川野理事・米澤理事・玉置理事
		在 宅 医 療	◎石川常任理事○瀬ノ口常任理事・大塚理事・玉置理事
		学 校 保 健	◎高木常任理事○佐々木理事・玉置理事・上山理事
		広 報	◎荒木常任理事○高木常任理事○佐々木理事
		情 報 シ ス テ ム	◎荒木常任理事○嶋本理事
		プ ラ イ マ リ ・ ケ ア	◎金丸常任理事○池井常任理事・玉置理事
		救 急 災 害 医 療	◎池井常任理事○米澤理事・瀬ノ口常任理事・岩村理事 嶋本理事・赤須理事
		勤 務 医	◎岩村理事○米澤理事・荒木常任理事・池井常任理事 金丸常任理事・峰松理事・嶋本理事
		医 師 確 保 対 策	◎金丸常任理事○荒木常任理事・池井常任理事・帖佐理事 嶋本理事
		男 女 共 同 参 画	◎荒木常任理事○上山理事・金丸常任理事・大塚理事
		医 療 関 係 者 対 策	
		(看護学校)	◎瀬ノ口常任理事○赤須理事・米澤理事・園田理事
		(医療従事者)	◎岩村理事○赤須理事・園田理事
		(医療秘書)	◎池井常任理事○岩村理事・米澤理事
		共 同 利 用 施 設	◎赤須理事○瀬ノ口常任理事
		治 験	◎荒木常任理事○嶋本理事・岩村理事
		(センター長)	◎小牧常任理事
		税 制	◎吉田常任理事○玉置理事・石川常任理事
		日 医 年 金	◎吉田常任理事・石川常任理事

九州医師会連合会第384回常任委員会

と き 令和2年7月4日(土)

ところ シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医師会連合会長

2) 開催県医師会長

3 報 告

1) 日本医師会理事（勤務医枠）候補者の推薦について（佐賀）

2) その他

4 協 議

1) 九州医師会連合会会長・同副会長の互選について（宮崎）

任期：令和2年7月1日～令和3年6月30日
慣例により九医連開催県の宮崎県医師会の河野会長が九州医師会連合会会長に次期開催県の沖縄県医師会の安里会長が九州医師会連合会副会長に就任することが了承された。

2) 九州医師会連合会監事の選定について
（宮崎）

任期：令和2年7月1日～令和3年6月30日
監事については、担当県である宮崎県の隣接県である鹿児島県と大分県から、候補者を推薦していただき、8月4日(火)までに宮崎県に候補者名を報告していただくことが了承された。

3) 九州医師会連合会第386回常任委員会並びに第119回定例委員総会（8月29日(土)宮崎市）の開催について（宮崎）

常任委員会は16時から、定例委員総会は17時から、宮崎観光ホテルで開催すること。常任委員会、定例委員総会への提案



議題は、令和元年度九州医師会連合会決算、令和2年度事業計画・予算・負担金賦課などとするのが了承された。

また、来賓として中川日本医師会長、羽生田、自見の両参議院議員に出席の案内をすることも了承された。

4) 第1回各種協議会（10月10日(土)宮崎市）の開催種目について（宮崎）

地域医療、医療保険、介護保険の3つの協議会開催といずれの対策協議会においても新型コロナウイルス感染症対策を含めて行うことが了承された。

また、各県からの提案議題は、1題とすることも了承された。

5) 九州地方社会保険医療協議会委員（臨時委員）の推薦について（福岡）

九州地方社会保険医療協議会の一部委員及び部会委員について、本年10月に任期が満了する。該当する県に協議会委員については、九州厚生局、部会委員については、九州厚生局各県事務所より7月中旬に個

別に依頼があるので、該当県で対応することが了承された。宮崎県は、今回は、委員交代はなかった。

6) 新型コロナウイルス対応下での医業経営状況と更なる財政支援の要望について

(鹿児島)

現下の厳しい医業経営状況から更なる財政支援を求めること1点に絞り、九医連から日本医師会へ要望書を提出することが了承された。

要望にあたっては、次のとおり本県で取りまとめることとされた。

- (1) 鹿児島県医が今回追加資料として提出された国保連合会などから入手した診療報酬請求データをベースに、九州各県から各県の国保連合会などに依頼し本県へ提出してもらうこと。

(2) データ提出依頼にあたっては、いつから、いつまで調査するか、入院、外来、診療科区分はどうするかなど要領を鹿児島県医に意見聴取のうえ、本県で作成すること。

(3) 要望書文面についても、提案の鹿児島県医、安里副会長とも協議して宮崎県で作成すること。

(4) 九州各県ですでに各県議会や国などに医業経営への支援を要望している状況もバックデータも含めて本県に提出してもらうこと。

5 その他

出席者－河野会長、山内事務局長、
竹崎次長兼総務課長

お知らせ

クールビズの実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向け、令和2年5月1日から同年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
b	b	b	a	e	a	a	e	b

九州医連連絡会第29回常任執行委員会

と き 令和2年7月4日(土)

ところ シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医連連絡会委員長

2) 開催県医師連盟委員長

3 協 議

1) 九州医連連絡会委員長・同副委員長について(宮崎)

任期：令和2年7月1日～令和3年6月30日

九州医連連絡会委員長は河野宮崎県医師連盟委員長に、副委員長には安里沖縄県医師連盟委員長とすることが承認された。

2) 九州医連連絡会第21回執行委員会の開催について(宮崎)

8月29日(土)宮崎観光ホテルで九州医師

会連合会第119回定例委員総会に引き続いて第21回執行委員会を開催すること、日本医師連盟委員長および日本医師連盟選出国會議員に挨拶いただくことが了承された。

3) 日本医師連盟常任執行委員の推薦について(宮崎)

今期の日医連常任執行委員1名の九州ブロックからの推薦は、沖縄県の安里委員長とすることが決定された。

4) その他

4 その他

出席者－河野委員長、山内事務局長、竹崎次長兼総務課長

お知らせ

開催中止

第21回 宮崎県医師会医家芸術展

8月12日(水)～16日(日)に開催を予定しておりましたが、宮崎県内で新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、やむを得ず中止することになりました。どうぞご了承ください。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

第1回全国医師会産業医部会連絡協議会

と き 令和2年5月31日(日)

ところ 日本医師会館

日本医師会が、産業医のネットワーク化と支援体制強化を目的に設置した「全国医師会産業医部会連絡協議会」の第1回目が開催された。

協議会は、松本常任理事（日医）の進行により開会し、横倉会長（日医）、村山部長（厚生労働省安全衛生部部長）ほか関係団体より挨拶・祝辞があった後、次第に沿って進められた。なお、新型コロナウイルス感染症感染防止のためテレビ会議システムを用いた開催となった。



1 記念講演

1) 新型コロナウイルス感染症対策と産業医の役割について

日本医師会長 横倉 義武

新型コロナウイルス感染症対策としては、日医が行った初期対応、国への要望、医療危機的状況宣言などの報告や、日医産業保健委員会が作成した「医療機関における産業保健活動としての新型コロナウイルス対策」の紹介があった。

産業医の役割については、働きやすい職場環境づくりは事業者・労働者にとって重要であり、産業医はその担い手となる存在であり、これから求められる産業医は法律で規定された最低基準の業務を行うだけでなく、急速に変化する時代を先取りし、質の高い活動とリーダーシップを発揮していくことが期待されると述べられた。また、日医は第一線で活躍する産業医を全面的に支援すると表明された。

2) 日本医師会初代会長 北里柴三郎から今日の産業医制度までの歴史的変遷

北里大学名誉教授/

日本医師会産業保健委員会委員長

相澤 好治

産業保健の歴史的な変遷については、戦前は、労働力確保を主眼とし職業病や感染症の早期発見、二次予防が課題とされていたが、戦後は、職業病の防止だけでなく生活習慣病の予防やメンタルヘルスなど一次予防が重要視されてきた。

また、産業医制度の発展に尽くした武見太郎第11代日本医師会長と予防医学を重視した。そして、産業医制度の発展に尽くした武見太郎第11代日本医師会長と予防医学を重視した初代日本医師会長でもある北里柴三郎、北里柴三郎を支えた福沢諭吉の3名について、開拓の精神、不撓不屈の精神などの共通点やエピソードなどが紹介された。

2 報 告

1) 産業医の現状を踏まえ連絡協議会が目指すもの

日本医師会常任理事 松本 吉郎

認定産業医総数は103,407人で死亡・失効など除く有効者数は67,352人である。有効者数のなかで、活動している産業医は約48%と半数近く、50～60代の割合が大きいというのが実態である。認定産業医指定研修会も回数が増加傾向にある。日医の産業保健委員会が実施した調査によると、会議全体の設置について、多くの都道府県医師会には産業保健委員会、産業医部会、協議会が設置されていた。産業医の組織化に必要と感じる施策では、産業医経験のない産業医を対象にした実践研修や産業医からの相談応答があった。直面している課題として、産業医を支援する体制がない、業務が多様化して対応できる産業医がいけないという割合が高かったと報告があった。また、全国医師会産業医部会連絡協議会の組織図や、認定産業医研修会講師派遣紹介ルートの構築、医師会主導による産業医紹介事業者を活用したモデル事業といった全国組織化に向けた取組み（案）が提案された。

3 活動報告

1) 岡山県医師会産業医部会の活動報告

岡山県医師会常任理事 内田 耕三郎

岡山県医師会の産業医の実態、研修会の開催、岡山産業保健総合支援センター事業活動状況の報告があった。産業医活動は、職務の多様化、産業医の高齢化・地域偏在という課題がありながらも、そういった課題を解決するためには、日本医師会認定産業医を組織化し、日本医師会主導で産業医活動を推進することに期待を寄せている。

2) 三重県医師会産業医部会新設に向けた取組

三重県医師会理事 田中 孝幸

日本医師会認定産業医有資格者の状況、産業医の組織化に向け三重県医師会産業医部会を設立し、設立に至るまでの検討委員会の内容や、設立についての周知方法についての報告があった。今後、三重県医師会産業医部会では、非会員への医師会入会を推進するとともに、産業医が安心して産業医活動に専念できるような環境・体制作りに向け、産業医部会事業を充実させたいとしている。

3) 大宮医師会の産業医会の活動報告

大宮医師会会長 松本 雅彦

産業医会の設立の経緯、活動状況の報告があった。大宮医師会の産業医会の活動のひとつである産業医の選定は、公募があった事業場に対して、医会内で募集・選定を行い、事業場と契約という流れであり、昨年度の実績は4件であった。

4 シンポジウム「これからの産業医支援のあり方と具体的取組み」

1) 産業保健総合支援センターにおける産業医支援業務の充実強化

労働者健康安全機構理事 大西 洋英

産業保健総合支援センターおよび地域産業保健総合支援センターそれぞれの業務内容について報告があり、事業場向けの紹介動画も放映された。小規模事業場が、産業医に対しての認識が薄いことから、事業主に向けてリーフレットの作成、小規模事業場産業医活動助成金といった活動支援についての周知をしている。地域における嘱託産業医の資質向上や登録産業医の協力体制の強化を目的に、産保センターの産業医ネットワーク構築の取組みを行っている。モ

デル事業の例として、経験の浅い嘱託産業医が意見交換や悩みが相談できるよう、地域の産業医の人的交流を構築するための研修会を実施している。今後も関係機関と連携を強化できるような体制を構築していくとのことであった。

2) 産業医研修会への産業衛生学会の貢献の方向性

日本産業衛生学会副理事長 森 晃爾

産業衛生学会は、産業保健を構成する多分野の人材を有する学術団体であり、すべての働く人に対して産業保健を提供することを共通認識としている。また、九州地方会、関東地方会といった8つに分類された地方会は、学会・研修会開催、ニュースレターなど独自の活動を行っているという報告があった。2029年の創立100周年に向けて、働く人の健康を通じて社会の健全な発展に貢献したいといった目標を明確にしている。

3) 産業医需要供給実態調査の取組

産業医科大学

進路指導副部長 一瀬 豊日

産業界の産業医不足を検証するために実施した需要供給実態調査の報告があった。調査の結果、仕事量に対する人員の「不足」、老齢化・若手が少ないことを指す「不足」などといった産業医の多様な「不足」が発生していた。また、医師会や産保センターといった各団体で「供給」の意味が異なったことから、今後は、全体最適も進めるべきとしている。

4) ストレスチェックに関する嘱託産業医支援事業

日本精神科産業医協会

代表理事 渡辺 洋一郎

精神科産業医協会は、労働者の心理的な

負担の程度を把握するため事業者に実施を義務づけるストレスチェック制度に関して、ストレスチェック制度を入り口として真に労働者と企業にとって有効な支援を提供するために精神科医が関わっていくシステムを作ることを目標としている。ストレスチェック実施後の高ストレス者に対してのフォローが重要課題として挙げられ、解決の対策も必要である。

また、産業医が実施者となりストレスチェックを実施する際、簡単・低価格で実施できる仕組みを提供している。産業医が面接指導を行った際に、専門家の助言・指導が必要となれば、協会の専門家がメールで支援するという取組みも行っている。

5 討 論

埼玉県医師会

治療と仕事の両立支援に向けた取組みとして、がん拠点病院において両立支援推進のための講演会などを開催しているが、産業医と主治医の連携は十分な状況であるとは言えない。診療報酬改定により支援の充実として、療養・就労両立支援指導料についても、両立支援における産業医と主治医の連携がますます重要となる。連携強化のために、産業医の役割についてご教示ください。

松本日医常任理事

働き方改革では、治療と仕事の両立支援も重要なテーマの一つになり、労働安全衛生法が改正され、産業医の権限、情報提供の充実・強化などとともに、産業医の職務内容の周知が求められるようになった。これにより、産業医が身近な存在になることが期待されているが、産業医には地道に活動を実践し信頼関係を築いていくことが、今まで以上に求められてくるものと思われる。特に両立支援は、健康管理の一環

として取り組む必要があることから、産業医と事業場の人事や労働者との情報共有に対する信頼関係の構築が必要であると考えます。連携の要である産業医への期待は大きいものであると考えます。主治医については、診療報酬上の評価がなされたが、産業医には、負担の増加などの課題がある。産業医の課題として、たとえば経験がないため自信がない、報酬がともなわないためやる気が出ないということがあり、それぞれに支援策を出すことが重要である。対策としては、研修会の開催や情報提供、相談窓口の設置が考えられる。新たな職務が加わった際は、報酬の契約条件の見直しを行う必要性があり、そのような支援を充実させるということも、組織化の目的の一つである。

京都府医師会

日本医師会が進める産業医と事業場のマッチングの中で産業医の偏在問題への具体策の検討状況や今後の展望についてご教示ください。

松本日医常任理事

連絡協議会では、課題に対する解決策を見出し、産業医にとって有益なマッチング事業に発展していくためのノウハウを蓄積し、全国の産業医部会や医師会に情報提供していきたいと考えている。

令和2年度から医師会主導による産業医紹介事業者を活用した支援モデル事業を実施している。例えば経験がないため、自信がない認定産業医には、実務能力向上のための研修会の提供や相談対応、契約交渉が面倒だという認定産業医には、産業医紹介事業者による契約交渉と手続き代行支援の提供など産業医活動に参加するハードルを下げるために、産業医紹介体制の充実強化がはかられるものと考えます。

更に、産業保健委員会の答申では、医師会員である認定産業医を登録するデータベースと事

業場に関する情報のデータベースをもとに、マッチングシステムの構築のご提案をいただいている。既存の医師会の事業との調和を図り、なかなか難しい課題ではあるが、全国規模のマッチングシステム構築に向け検討を始めていきたいと考える。

和歌山県医師会

新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、認定産業医更新のための講習会は中止となり有効期限内に単位が取得できない認定産業医の対応についてご教示ください。

松本日医常任理事

日医認定産業医制度運営委員会で検討した結果、認定産業医の単位取得の状況や各地域の産業医研修会の開催状況も異なることから、全国一律の措置ではなく各地域の状況や認定産業医の個別事情を鑑みた上で対応することとなっている。認定産業医の更新に不利にならないように、措置を考えているのでご安心いただきたい。また、非常時の研修会の開催については、この度日本医師会産業保健委員会の答申を踏まえ、テレビ会議システムなどの情報通信機器を活用した研修会の推進により、緊急事態においても自己研鑽が継続できるような具体的対策の検討を進めていきたい。

出席者ー県医テレビ会議場ー

佐々木(幸)常任理事、大岐照彦先生、
松本英裕先生、久永課長、福田主事

新型コロナウイルス対策の第二次補正予算に関する連絡会

と き 令和2年6月19日(金)

ところ 日本医師会館（テレビ会議システムにより県医師会館で参加）

1 横倉日医会長挨拶

6月12日に第二次補正予算が成立し、16日に緊急包括支援事業実施要綱が発出された。本日はこの詳細を把握していただくために急遽開催した。

事業の補助率は国の10/10で都道府県の負担はないが、実施主体は都道府県であり各都道府県で補正予算が議会に提出され可決されるか知事が専決処分をすることが必要である。各都道府県医師会は医療機関への補助が一日でも早く行われるよう働きかけをお願いしたい。

二次補正予算は一次に引き続き新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を中心に、地域医療確保支援、診療報酬の3本立てで対応し補完をする形で優遇融資の拡充がなされる。診療所や中小病院では他の産業と同じように、雇用調整助成金が受け取れるし家賃支援の給付金がなされている。会員医療機関の運営に資するものになる。

日医では新型コロナウイルス感染症患者を多く受け入れている医療機関のみならず、すべての医療機関で働く常勤の医療従事者に対する危険手当を求めてきた。結果、慰労金として、感染リスクと背中合わせで働かれた医療機関の職員に最大20万円、また、感染の恐れがある中地域医療を支えた医療従事者に5万円ということで、すべての医療従事者への直接支援として慰労金が非課税で支給される。

更に、有事の医療体制と感染症対策以外の

平時の医療提供体制が車の両輪となって国民の健康を守らなければならないと訴えてきた。今回有事の対応として疑い患者を収容する救急・周産期・小児医療機関へ院内対策の防止対策として補助が行われる。平時としては感染拡大防止への支援ということで疑い患者と通常の患者が混在しないように動線を確保するような取組みを行う医療機関に、無床診療所は100万円、有床診療所は200万円、病院は200万円に更に病床数に応じた費用補助が行われる。

慰労金と感染防止の補助は1回限りで十分とは言えないが、2波3波への備えをしていただきたい。

医療機関にとっては、受診抑制が大きく、またこれまでの感染対策と異なるさまざまな経費が必要となっている。予備費10兆円の内2兆円を医療提供体制の整備に充てると国会答弁で言われているが、使い道の定まっていない残り8兆円の中からも医療機関を守るための支援に充てるようお願いしている。あわせて診療報酬の概算払いや上乗せ措置の実施についてもお願いしている。

会長に就任して以来申し上げているが地域の実情に応じた具体的方策が地域からのボトムアップで国の政策に反映していかなければならない。各都道府県医師会は2波3波に向けた医療提供体制について都道府県行政に対して必要な議論の働きかけをお願いする。

2 協議 新型コロナウイルス対策の第二次補正予算について

厚生労働省医政局佐々木総務課長から感染症緊急包括支援交付金について次のとおり説明があった。

新型コロナウイルス感染症の事態長期化・次なる流行の波に対応するため、新型コロナ対応を行う医療機関に対する支援とあわせて、その他の医療機関に対する支援を実施し、都道府県における医療提供体制の更なる整備や感染拡大防止などを推進する。予算額は1兆6279億円。実施主体は都道府県で、補助率は国10/10。補正予算成立後、本年4月に溯って適用される。

特に、多くの医療機関に関係する慰労金の支給と地域医療機関の感染拡大防止などの支援に関する事業については以下のとおり。

1) 新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業

医療機関の医療従事者や職員は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止・収束に向けてウイルスに立ち向かい、感染すると重症化するリスクが高い患者との接触をとまなうこと、継続して提供することが必要な業務であること、医療機関で集団感染が発生している状況から、相当程度心身に負担がかかる中強い使命感を持って業務に従事していること、に対し慰労金を給付する。
(給付額)

① 都道府県から役割を設定された医療機関などに勤務し患者と接する医療従事者や職員

- ・実際に、新型コロナウイルス感染症患者に診療などを行った医療機関などである場合 20万円
- ・上記以外の場合 10万円

② その他病院、診療所、訪問看護ステー

ション、助産所に勤務し患者と接する医療従事者や職員 5万円

2) 医療機関・薬局等における感染拡大防止等の支援

新型コロナウイルス感染症疑い患者とその他の患者が混在しない動線確保など院内での感染拡大を防ぐための取組みを行う医療機関などについて、感染拡大防止対策などに要する費用の補助を行う。

対象経費としては、感染拡大防止対策にかかる費用だけでなく、診療体制確保などに要する費用としており、幅広い費用を対象としている。

(補助額)

- ・以下の額を上限として実費を補助
病院200万円＋5万円×病床数
有床診療所200万円
無床診療所100万円

(対象経費)

- ・感染拡大防止対策や診療体制確保などに要する費用

なお、実際の交付に関しては、国および県において準備が必要なため、最速で8月下旬を目指している。

出席者－山村副会長、山内事務局長、

久永・牧野課長、田崎・横山主事

日医インターネットニュースから

■職務は3つの視点、経営支援担当新設 — 中川会長 —

中川俊男会長は7月1日の会見で、新執行部の職務分担を発表した。

中川会長は「前執行部の機能をさらにリニューアルする、ブラッシュアップする、パワーアップするという3つの視点で考えた」と述べ、役員ごとの職務の偏り解消にも配慮したことなどを説明した。公約に掲げた医療機関の経営支援の担当には、松本吉郎常任理事を充て、新たな会内委員会を設置する考えも示した。

医療機関の経営支援については、現在、新型コロナウイルス感染症の影響で医療機関経営が逼迫しているとし、収束後も患者の受療行動が変わる可能性がある」と指摘。「日医から全ての医療機関に対して具体的な支援をしたいという思いだ」と述べた。

設置する委員会内で具体例を検討して改善策を示すことや、経営再建に向けたデータ分析などを通して支援していきたいとした。併せて、政府からの財政的な支援も継続して求めるとした。

●中医協委員「そのまま継続で」

中医協の診療側委員については「現在の委員がそのまま継続してやっていただくということに決めている」と述べた。日本病院団体協議会からの推薦で委員を務めている猪口雄二副会長についても「現時点ではそのまま継続していただきたいと思っている」とした。横倉義武前会長に就任を打診した名誉会長の在り方については「これから」と答えた上で「私の責任でいろいろと考えていきたい」と述べた。

政権与党との距離感についてもあらためて質問に答えた。「決して日医と政権与党である自民党との関係は変わらない。これは微動だにしない」と述べ、「個別の医療政策に関しては、意見の申し上げ方、伝え方、厚生労働省での検討会での発言など、若干、表現方法は変わるかもしれないが、大きな違いはないとご理解いただきたい」とした。

控除対象外消費税問題の抜本的解決について

は「非常に大事なことで、中長期的な議論になる」と見解を示した上で、「医療界が一丸となった一枚岩の議論を進めていきたい。あらゆる選択肢を外さないで議論したい」と述べた。

●政策担当の猪口副会長「全力でぶつかる」

政策を担当する猪口副会長は「私がどこまでやれるか、全力でぶつかってみたい」と抱負を述べた。地域医療構想や医師の働き方改革などの課題が山積しているとした上で「病院団体から入れてもらった。一丸となって日本の医療、国民のための医療を提供できるように微力ながら頑張りたい」と述べた。新任の常任理事の橋本省、宮川政昭、渡辺弘司、神村裕子の4氏も抱負を述べた。（令和2年7月3日）

■コロナ患者受け入れ病院で大幅に悪化 — 日医調査 —

日本医師会は7月8日の会見で、「新型コロナウイルス感染症の病院経営への影響—医師会病院の場合—」を発表した。同感染症の入院患者がいる病院の2020年3～5月の医業利益率はマイナス21.5%で、前年同期のマイナス6.4%から15.0ポイント悪化した。同感染症に対応する病床がある病院もマイナス16.3%で、マイナス3.4%から12.9ポイント悪化した。松本吉郎常任理事が解説した。

同感染症の入院患者がいる病院の3～5月の入院の総件数、総実日数、総点数を見ると、総件数はマイナス16.6%、総実日数はマイナス14.7%、総点数はマイナス10.5%と軒並み悪化した。

回答病院全体の20年3～5月の医業利益率マイナス12.0%で、前年同期のマイナス1.3%と比較してマイナス幅が拡大した。

調査は6月24日の会見で概要を発表しており、今回が確定版。6月1日現在、稼働している72病院が対象で最終的に58病院から回答があった。回答率は80.6%。同感染症の入院患者がいた病院は14病院、病床を確保していたのは28病院だった。（令和2年7月10日）

■オンライン診療、「対面原則」

— 自民・医療政策研究会 —

自民党の中堅・若手議員で構成する医療政策研究会（武見敬三会長）は7月15日、日本医師会の中川俊男会長ら執行部を招き、医療の現状と課題を聴取した。中川会長は新型コロナウイルス感染症による病院、診療所の厳しい経営状況を報告したほか、時限的・特例的に緩和されたオンライン診療については「直ちに平時の対面診療と比較できるわけではない」として、性急な拡大に懸念を示した。これを受け参加議員からは、「対面原則というやり方を間違えないよう、支援していきたい」という趣旨の発言があったようだ。

新執行部が発足後、中川会長らが自民党議員らの会合に公式に出席するのは同日が初。中川会長は自身の日医会長就任を報告した上で、自民党支持を表明し、日医として適切に情報発信を行う方針を示した。今週にも閣議決定される「経済財政運営と改革の基本方針2020」（骨太の方針2020）に向けては、医療機関経営の深刻さについて、「来年度の予算編成を待てない」と危機感を示し、至急の追加支援を求めた。

（令和2年7月17日）

■5月の入院外、診療所マイナス20.2%

— 日医調査 —

日本医師会は7月22日の会見で、新型コロナウイルス感染症対応下での医業経営状況を調査した結果を発表した。2020年5月の入院外総点数の対前年同期比は病院でマイナス11.6%、診療所でマイナス20.2%となった。診療科別で

は、耳鼻咽喉科と小児科で厳しい状況となった。会見で説明した松本吉郎常任理事は「感染拡大を防ぎながら地域で求められる医療を提供するための診療体制を確保できるのか不安な状況だ」と述べた。

20年3～5月の診療所の診療科別総点数の対前年同月比を見ると、耳鼻咽喉科はマイナス33.5%、小児科はマイナス35.8%と大きく落ち込んだ。松本常任理事は小児科では不安を感じている親が多いことなどが要因として考えられるとし、耳鼻咽喉科も小児の受診が多いことや処置が多いことなどが背景にあるのではないかとの見解を示した。

20年5月の診療所の1カ月当たりの医業利益を見ると、無床診療所全体でマイナス120万円、有床診療所でマイナス360万円となった。耳鼻咽喉科はマイナス280万円、小児科はマイナス300万円だった。

20年5月の初診料の算定回数では、一般病院がマイナス41.5%、有床診療所がマイナス34.6%、無床診療所がマイナス44.7%となった。再診料・外来診療料の算定回数も一般病院はマイナス19.7%、有床診療所はマイナス14.8%、無床診療所はマイナス18.2%だった。

特定健診、がん検診、各種健診の実施者数を見ると、一般病院の約7割、診療所の約6割で実施者数が減少した。予防接種（定期接種、任意接種）の実施者数も一般病院と無床診療所の約半数で実施者数が減少した。

都道府県医師会を通じて、病院・診療所の19年と20年の3～5月の入院外のレセプトを調査した。回答医療機関数は693施設で、病院は136施設（うち精神科病院17施設）、診療所は530施設だった。

（令和2年7月28日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

**令和2年6月2日(火) 第5回全理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 役員退任に係る役員退任慰労金の支給について**

県医師会役員等報酬等規程および表彰並びに慶弔に関する内規に基づき、退任された役員を含む4名の役員等に慰労金を支給することが承認された。

2. 県医師会役員等報酬支給について

県医師会役員等報酬等規程に基づき、28名に役員等報酬を支給することが承認された。

3. 県医師連盟執行委員の推薦について

県医師会の次期役員等の中から、公務員と医師連盟非会員を除いた20名を推薦することが承認された。

4. 6/20(土) (県医) 第172回県医師会定例代議員会及び第173回臨時代議員会等について

感染症対策の面から、座席間隔と換気に注意して会議時間の短縮を図ることを再確認し、当日の進行スケジュールと提出議題などを承認した。

5. 地域医療介護総合確保基金に係る令和3年度新規事業提案(介護従事者確保分)について

県の計画を策定するために、関係団体などから「介護従事者の確保に関する事業」提案を募集するもので、各郡市医師会に照会することが承認された。

6. 訪問救急教室事業の委託契約について

県小児科医会の協力を得て、保育所や幼稚園に小児科医師を派遣し、保護者・職員などを対象に小児救急の基礎知識や正しい受診のあり方を啓発する研修事業で、契約を締結することが承認された。

(報告事項)**1. 週間報告について****2. 5月末日現在の会員数について****3. 5/29(金) (県医) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について****4. 6/2(火) (県医) 治験審査委員会について****5. 5/29(金) (県医) 日医医療秘書認定試験委員会について****6. 6/1(月) (県医) 県糖尿病対策推進会議小幹事会について****7. 5/31(日) (県医) 全国医師会産業医部会連絡協議会について****8. 5/27(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について****9. その他**

①新型コロナウイルス感染症対策に対する
本会への寄付金の使途について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会**(報告事項)****1. 5/29(金) (県医) 医協理事会について****医師連盟関係****(議決事項)****1. 6/20(土) (県医) 県医師連盟執行委員会について**

新型コロナウイルス感染症対策のため、会議時間を極力短縮して執行委員会を開催することが承認され、県医師会および各郡

市医師会から推薦された55名の執行委員に案内することとなった。

2. 令和元年度県医師連盟会務報告について

4月の県議会議員選挙および7月の参議院議員選挙への対応を含めた1年間（平成31年4月～令和2年3月末まで）の事業報告が承認された。

3. 令和元年度県医師連盟収支決算について

収入合計3,098万1,350円、支出合計3,384万4,213円、前期繰越金4,135万6,864円を加えた次期繰越収支差額3,849万4,001円からなる決算が承認され、6/20(土)に開催される執行委員会に上程することとなった。

4. 令和3年度国・県に対する要望について

要望については、昨年の要望をメールなどで確認し再度協議することが承認され、7/31(金)に予定されるヒアリングの出席者については、後日調整することとなった。

令和2年6月9日(火) 第3回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 職員の夏季手当支給について

県医師会職員給与規程等に基づき、宮崎県人事委員会の勧告および決算等諸状況を参考に、20名の職員に期末・勤勉手当を支給することが承認された。

2. 管理職調整手当（令和2年6月）の支給について

管理職調整手当の支給に関する規程に基づき、期末・勤勉手当にあわせて4名の職員に支給することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①「宮崎県高齢者サービス総合調整推進会議認知症施策部会」委員の推薦について
→宮崎県が認知症施策推進計画を策定するにあたり、新たに設置される部会

で、部会委員に石川常任理事を推薦することが承認された。

②「宮崎県福祉サービス運営適正化委員会」委員の任期満了に伴う委員候補者の推薦について

→福祉サービス利用援助事業の運営監視と、利用者からの苦情解決を目的に設置される委員会で、介護保険担当の石川常任理事を推薦することが承認された。

③宮崎県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会における委員の推薦について

→任期満了にともない内科2名、整形外科2名の推薦依頼があり、再任の方向で現委員の意向を確認し、必要があれば専門分科医会に人選をお願いしながら推薦作業を進めることが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①10/31(土)（都城市総合文化ホール）第60回宮崎県精神保健福祉大会の後援について
→県民の心身の健康保持増進と、地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に、「みんなで築こう笑顔広がる理解ある社会」をテーマに開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

5. 6/26(金)（東京）九州ブロック（次期）日医代議員連絡会議の開催について

日医定例代議員会の前日に開催される会議で、河野会長と日医代議員の濱田・山村副会長、吉田・小牧常任理事が出席することが承認された。

6. 10/1(木)・2(金)（日医）第64回社会保険指導者講習会の開催日程について

「災害医療2020－大規模イベント、テロ対応を含めて－」をテーマに開催される講習会で、小牧常任理事を中心に参加者などを検討することが承認された。

7. 新型コロナウイルス感染症防止下における

児童・生徒等の運動器の健康ならびに運動器検診について

新型コロナウイルス感染症の影響で、全国的に学校健診及び運動器検診が延期され、適切な治療機会を逸するリスクが生じていることから、日本整形外科学会などの要請に応じ、本会のホームページに掲載するとともに県教育委員会などに働きかけを行うことが承認された。

(報告事項)

1. 6/6(土)(福岡)九医連常任委員・次期会長合同会議について
2. 6/8(月)(県庁)新型コロナウイルス感染症に関する要望について
3. 6/5(金)(県庁)県新型コロナウイルス感染症対策協議会について
4. 6/7(日)(県医)日本プライマリ・ケア連合学会ブロック支部長会議について

令和2年6月16日(火) 第4回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①介護支援専門員ケアマネジメント向上支援事業に係る選考委員会の委員推薦について

→居宅介護支援事業所の巡回相談などを行う認定介護支援専門員(ケアマネナビゲーター)を選考することを目的に設置される委員会で、石川常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎県薬事審議会委員の推薦について

→薬事衛生思想の普及向上や医薬品などの取扱いの適正化を図ることを目的に設置される審議会で、山村副会長を推薦することが承認された。

2. 6/17(水)(日医) 令和2年度都道府県医師

会災害医療・感染症危機管理担当理事連絡協議会の開催について

新型コロナウイルス感染症時代の災害時避難所対策などを協議するために開催される担当理事連絡協議会(テレビ会議)で、濱田副会長、吉田常任理事、峰松理事、米澤理事が出席することが承認された。

3. 令和2年度県立学校医等に係る報酬基準額について

県立高等学校、特別支援学校などへの学校医報酬で、基本額、検診料などの基準額が承認された。しかし産業医と比べると大きな開きがあることから、引き続き増額を要望していくことが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 6/11(木)(県医) 県アイバンク協会理事会について

3. 6/14(日)(東京) 横倉義武日本医師会長候補選挙対策本部事務所開きについて

4. 6/11(木)(総合保健センター) 県健康づくり協会理事会について

5. 6/11(木)(福岡) 九州地方社会保険医療協議会総会について

6. 6/11(木)(県医) 広報委員会について

7. 6/12(金)(宮大医学部) 宮大医学部附属病院マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病院説明会について

8. その他

①新型コロナウイルス感染症対策下における救急搬送について

②国が準備した新型コロナウイルス感染症対策個人防護具の提供開始について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 公明党宮崎県本部「政策要望懇談会」開催のご案内について

7/14(火)午後1時の懇談を希望し、河野

委員長、濱田・山村・小牧常任執行委員が参加すること、自民党への国政に対する要望を利用することなどが承認された。

2. 県議会特別委員会の視察受入ご検討のお願いについて

県の新型コロナウイルス等感染症対策特別委員会からの視察依頼で、8/26(水)に視察を受け入れること、今までの県との連携と今後の医療体制の充実（吉田常任執行委員）、新たな感染症対策（峰松委員）、医療機関の経営状況（山村常任執行委員）などについて説明することが承認された。

令和2年6月30日(火) 第5回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 令和2年度医師臨床研修について

県中央保健所が受け入れる臨床研修医に対して、宮崎北および南警察署の死体検案を見学してもらうための協力依頼で、県警察医会を通じて研修に協力することが承認された。

2. 宮崎県医師会をとりまとめ機関とした保険適用検査の実施について

新型コロナウイルス感染症の保険適用検査に関する自己負担分の公費負担について、県と実施医療機関（宮崎市内を除く）の間で委託契約を結ぶ必要があることから、本会をとりまとめ機関とした集合契約および会員への周知などに協力することが承認された。

3. 業務委託について

①令和2年度自殺対策に係る人材育成研修事業の業務委託契約について

→医療の現場における自殺対策の強化を図ることを目的に、医療従事者を対象とした専門研修を行う事業で、委託契

約を締結することが承認された。

②令和2年度女性医師等就労支援事業の業務委託契約について

→本県の医師確保を目的に、女性医師などが仕事と家庭の両立を図り、医師として働き続けられる環境作りを支援する事業で、契約を締結することが承認された。

③医療勤務環境改善支援センター事業に関する業務の委託契約について

→計画的に勤務環境の改善に取り組む医療機関に対して、総合的な支援体制を構築することを目的とする事業で、委託契約を締結することが承認された。

4. 厚生功労に係る令和3年春の叙勲及び褒章候補者の推薦について

主に医師会の役員歴などを踏まえた功労で、各郡市医師会に照会の結果、会員1名を推薦することが承認された。

5. 令和2年度宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰候補者の推薦について

多年にわたり公衆衛生活動に携わりその功績が顕著な方を表彰するもので、各郡市医師会に照会の結果、会員3名を推薦することが承認された。

6. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県総合計画審議会委員の委嘱について

→県の総合計画などを調査する審議会で、任期満了にともなう委員の委嘱依頼があり、引き続き河野会長を委員とすることが承認された。

②宮崎県社会福祉審議会委員の推薦について

→社会福祉に関する事項を調査審議する審議会で、任期満了にともなう委員の推薦依頼であり、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

③宮崎県社会福祉審議会臨時委員の推薦について

→身体障害者福祉専門分科会・審査部会

9名および児童福祉専門分科会・検証部会1名の臨時委員の推薦依頼で、再任の方向で現職の意向を確認することが承認された。

④宮崎県糖尿病・慢性腎臓病（CKD）対策検討会設置要綱の改正及び構成員の推薦について

→県民の人工透析導入を予防し医療費の適正化を図ることを目的に設置される検討会で、任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き金丸常任理事を推薦することが承認された。

⑤宮崎県ナースセンター事業運営委員会委員の推薦について

→事業の円滑かつ効果的な実施を目的に設置されている委員会で、任期満了による推薦依頼があり、引き続き池井常任理事と岩村理事を推薦することが承認された。

⑥宮崎県感染症対策審議会委員の推薦について

→感染症対策の総合的な推進のために設置される委員会で、役員改選などにもない、吉田常任理事を推薦することが承認された。

⑦令和2年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員及び運営委員の推薦について

→医療秘書学院を設置する13の県医師会で構成される協議会で、引き続き常任委員に山村副会長、運営委員に池井常任理事を推薦することが承認された。

⑧九州学校検診協議会幹事及び専門委員の推薦について

→任期満了にともなう推薦依頼があり、幹事および専門委員として、心臓部門は高木常任理事、腎臓部門は宮田純一先生、小児生活習慣病部門は澤田浩武

先生、運動器部門は帖佐理事・高村一志先生・山口奈美先生を推薦することが承認された。

7. 宮崎県医師国民健康保険組合理事の推薦について

任期満了にともなう推薦依頼で、濱田副会長、石川・高木常任理事、川野・佐々木(究)・玉置・上山理事の7名を推薦することが承認された。

8. 九州医師会連合会について

①7/4(土)（シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート）九州医師会連合会第384回常任委員会について

→7月から本会が九医連担当となり初めて開催される常任委員会で、九医連会長などの互選を含めた5つの協議題を中心に開催することが承認された。

②九州医師会連合会令和2年度第1回各種協議会の開催種目について

→本会が九医連担当県のため、開催種目については、九医連常任委員会の判断に任せることが承認された。

9. 7・8月の行事予定について

7月の追加行事確認が行われ、役員会を含めた7月および8月の行事予定が承認された。

（報告事項）

1. 週間報告について

2. 6/21(日)全国有床診療所協議会常任理事会・役員会について

3. 6/26(金)（東京）九州ブロック（次期）日医代議員連絡会議について

4. 6/27(土)（日医）日医理事会について

5. 6/27(土)（日医）日医定例代議員会について

6. 6/17(水)（県医）都道府県医師会災害医療・感染症危機管理担当理事連絡協議会について

7. 6/19(金)（県医）新型コロナウイルス対策の第二次補正予算に関する連絡会について

8. 6/20(土) (県医) 県医定例代議員会, 臨時代議員会, 総会について

9. 6/24(水) (県医) 広報委員会について

10. 6/29(月) (県医) 県糖尿病対策推進会議幹事会について

11. 6/29(月) (中央保健所) 宮崎東諸県地域医療構想調整会議について
医師連盟関係

(議決事項)

1. 九州医連連絡会について

① 7/4(土) (シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート) 九州医連連絡会常任執行委員会について

→ 7月から本医師連盟が九州医連連絡会の担当となり初めて開催される常任執行委員会で, 委員長および副委員長の確認を含めた3つの協議題を中心に開催することが承認された。

(報告事項)

1. 6/20(土) (県医) 県医連執行委員会について

お知らせ

令和2年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では, 日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し, 医療事務に必要な知識, 最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに, 医療機関の今日的な使命を自覚し, 誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度, 医療事務職員採用のご予定がございましたら, 何卒, 県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお, 求職に関するお問い合わせなどにつきましては, 直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者17名 (男2名, 女15名)	就職希望者10名 (男0名, 女10名)	就職希望者6名 (女6名)
連絡先: TEL0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当: 田村 広美 武村 順子	連絡先: TEL0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当: 福元 進 馬原裕加里	連絡先: TEL0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当: 吉原真由美 谷山真菜己

県医の動き

(7月)

3	県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議（吉田常任理事） 県有床診療所協議会4役員会（川野理事）
4	県外科医会理事会 九医連常任委員会（会長） 九州医連連絡会常任執行委員会 （河野委員長）
5	（高鍋町・西都市）九医連常任委員会視察 （会長他）
7	治験審査委員会（荒木常任理事他） 第6回常任理事協議会（会長他）
8	支払基金幹事会（会長）
9	医師国保組合理事会（秦理事長他） 県産婦人科医会常任理事会（嶋本理事他）
10	県新型コロナウイルス感染症対策協議会 （濱田副会長他）
11	県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会 （会長他） 県専門医プログラム合同説明会 （金丸常任理事）
14	公明党県本部政策要望懇談会（河野委員長他） 県国民健康保険運営協議会（小牧常任理事） 第7回常任理事協議会（会長他）
15	広報委員会（荒木常任理事他） 妊婦に係る新型コロナウイルス検査体制 整備についての協議（濱田副会長他）
16	県有床診療所協議会役員会（会長他）
17	県訪問看護ステーション連絡協議会役員会 （池井常任理事）

18	宮崎市郡医師会病院竣工式・内覧会 （会長他） 産業医研修会（実地）
20	県地域医療オリエンテーション （金丸常任理事） 医師国保組合通常組合会（秦理事長他） 医師国保組合理事会
21	新型コロナウイルス感染症対策本部会議・ 日医理事打合会（日医TV会議）（会長） 日医理事会（日医TV会議）（会長） 日医連執行委員会（日医TV会議） （河野委員長他）
22	県自殺対策推進協議会（嶋本理事） 広報委員会（荒木常任理事他）
26	県新型コロナウイルス感染症対策協議会 （濱田副会長他） 県新型コロナウイルス感染症対策調整本部 会議（濱田副会長他）
27	生活習慣病検診各部長連絡協議会 （会長他）
28	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本理事） 医協理事会（河野理事長他） 第6回全理事協議会（会長他） 医協理事・運営委員合同協議会 （河野理事長他）
29	労災診療指導委員会（川野理事）
30	保育事業養成講座（荒木常任理事）
31	都道府県医師会新型コロナウイルス感染 症担当理事連絡協議会（日医TV会議） （濱田副会長他）

医師国保組合だより

～保健事業について～

※実施期間および接種期間：令和3年3月末日まで

1	健康診断	5	肺炎球菌ワクチン接種補助
2	胃・大腸内視鏡検査の補助	6	乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
3	低線量ヘリカルCT肺がん検診	7	歯科健康診査
4	脳ドックなどの補助		

★特定健診

特定健診対象者（年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方も含む））

※自家健診で実施した場合も実績となります。

すでに健診を受けられた方は、健康診断個人票（オレンジ色）に記入・押印のうえ、健診結果のコピーを添付して提出してください。（結果を転記されなくても結構です）。

★特定保健指導

特定健診受診者のうち、特定保健指導対象者には「特定保健指導利用券（無料）」をお送りしています。

※宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。但し、子宮頸がん検診および大腸内視鏡検査は平日となります。（予約は当組合にお電話ください）

①実施日：

令和2年9月13日

10月18日（胃部内視鏡検査は定員に達しました）

令和3年1月17日、2月7日、2月21日、3月7日、3月14日

②定 員：各30名

★日曜日の胃部内視鏡検査について（令和元年度より実施）

※実施人数：1日5名まで

※申込受付は先着順です。例年、特に年明け以降はお申込みが大変多くなっておりますので、なるべく年内の日程をおすすめします。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

事業所が法人化するなどの場合は、社会保険（健康保険と厚生年金）が強制適用となりますが、医師国保にすでに加入中の方は、年金事務所から健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※各種申請書は、当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

私 の 本



小林市 池井病院

おお つか のぶ あき
大 塚 伸 昭1) イラストで学ぶ病気や身体の基本知識 2
2) それでもタバコを吸いますか？印刷：宮崎紙工印刷株式会社
非 売 品

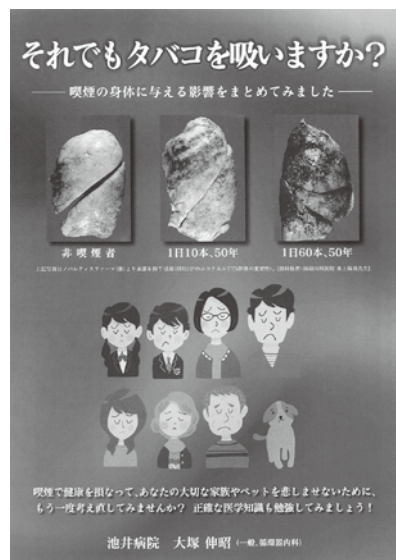
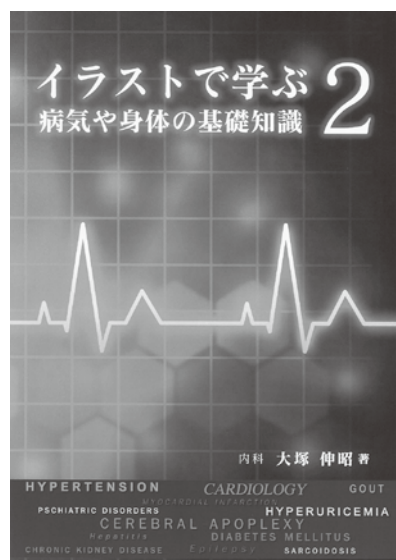
『イラストで学ぶ病気や身体の基本知識2』は、前回自費出版した『イラストで学ぶ病気の基礎』の続編です。130頁あり、色々な病気を解説しました。自費出版は私の出身医局である宮崎大学第一内科の先生方に主に贈呈させていただいていますが、毎回好評です。今回も「蜂による皮膚炎」の項目では、熊蜂の毒針を私自身が顕微鏡撮影して面白く解説を加えたりするなど、工夫を凝らしました。脱毛の話なども面白くイラスト入りで解説できたと自負しています。

『それでもタバコを吸いますか？』は約20頁で小冊子の形となっています（A4サイズ）。一般の喫煙者が禁煙できない一つの理由に正確な医学情報を得ることができないことがあると考え、分かりやすく解説しました。

2冊の本は私のホームページ「大塚先生の診療室パート2」(<https://nobuaki.biz/>)から自由に無料でダウンロードできます。使用しているイラストはほとんどが私の自作、あるいは有料サイトからダウンロードしているので、印刷して患者さんの説明などに利用されても構いません。著作権は一切行使しません。

今回の2冊で合計5冊の自費出版となりました。それなりに出費がかさみますが、妻も快諾しています(笑)。自費出版を発行する目的は患者さんに病気を理解してもらうこととなりますが、もう一つの理由は、私自身の勉強になるからです。

今回の2冊の本も宮崎県医師会に贈呈しますので、図書室で閲覧できると思います。実際の本を見てみたいと思われましたら、ぜひ、県医師会へ足をお運びください。



ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和2年7月7日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

1) 男性医師求職登録数 8人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	5	4	1
麻酔科	1	0	1
精神科	1	0	1
老健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 76人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和2年度	2	0	2
平成16年度から累計	55	21	76

3. 求人登録 98件 353人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	107	84	23	消化器外科	3	2	1
外科	27	22	5	乳腺外科	3	3	0
整形外科	29	23	6	健診	8	5	3
精神科	14	13	1	泌尿器科	4	2	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	15	13	2	皮膚科	5	2	3
麻酔科	14	10	4	婦人科	2	2	0
眼科	10	8	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	11	10	1	人工透析	7	5	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	5	4	1	診療科目不問	3	3	0
神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	10	9	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	8	7	1
救命救急科	9	9	0	合計	353	280	73

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高 岡 町	内	1	常勤
230205	ひなた在宅クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ 東部病院	都 城 市	外,脳外,内,透,眼,皮,放, 腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都城市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都城市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都城市	糖尿内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都城市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	2	常勤
190086	早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延岡市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230206	医)社団 光学堂 のべおか老健あたご	延岡市	老健	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日向市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国保病院	都農町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼内,循内,糖尿内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内	1	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西都市	内	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日南市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日南市	外,内	2	常勤
230198	小玉共立外科	日南市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小林市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和2年7月7日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 2階 547.79㎡ } 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地:1,098.23㎡ (322.79坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) 2階 96.00㎡ } ※駐車場あり(29台)	所有者:西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) 2階 638.35㎡ } ※駐車場あり(30台)	所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 2階 338.70㎡ } 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和2年7月30日

8			月		
1	土	16:30 九医連事務引継ぎ (TV会議)	19	水	10:00 地域医療現場における働きやすい環境を考える会
2	日				
3	月		20	木	19:30 県産婦人科医会全理事会
4	火	14:00 県総合計画審議会・県地方創生推進懇話会 16:40 日医連執行委員会 (TV会議) 18:00 治験審査委員会 19:00 九医学実行委員会 終了後 第8回常任理事協議会	21	金	
5	水	16:00 支払基金幹事会	22	土	14:30 在宅医療協議会役員会・総会・研修会 15:30 (大分)九州地区医師国保組合連合会理事会 16:00 (大分)九州地区医師国保組合連合会全体協議会
6	木	19:00 県内科医会理事会	23	日	
7	金	18:30 県外科医会夏期講演会	24	月	19:00 広報委員会 19:00 医師国保組合理事会
8	土	14:00 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会 (TV会議) 14:30 産業医研修会 (前期) 16:00 九医連常任委員会 (TV会議)	25	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:15 医協理事会 19:00 第7回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会
9	日				
10	月	(山の日)			
11	火	19:00 第9回常任理事協議会	26	水	15:00 労災診療指導委員会
12	水	19:00 広報委員会	27	木	17:00 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議)
13	木				
14	金		28	金	
15	土				
16	日		29	土	16:00 九医連常任委員会 17:00 九医連定例委員総会 18:00 九州医連連絡会執行委員会
17	月				
18	火	13:00 日医理事打合せ (TV会議) 13:30 日医理事会 (TV会議)	30	日	10:00 日本産科婦人科学会専門医制度認定二次審査
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			31	月	

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和2年7月30日

9			月			
1	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第10回常任理事協議会	17	木		 国保審査 社保審査
2	水		18	金		
3	木	19:00 在宅医療研修会企画小委員会 19:00 学校医部会総会・医学会（TV会議）	19	土	15:00 県産婦人科医会秋期総会 （市民公開講座）	
4	金		20	日		
5	土	（福岡）九州医師協同組合連合会理事会 14:30 産業医研修会（前期） 18:00 宮崎市郡医師会病院竣工祝賀会	21	月	（敬老の日）	
6	日		22	火	（秋分の日）	
7	月		23	水		
8	火	19:00 第11回常任理事協議会	24	木	16:00 都道府県医師会新型コロナウィルス感染症担当理事連絡協議会（日医TV会議） 19:00 広報委員会	
9	水	13:30 宮大経営協議会・学長選考会議	25	金		
10	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会	26	土		
11	金		27	日		
12	土		28	月		
13	日					
14	月	19:00 広報委員会				
15	火	13:00 （日医）日医理事打合せ 13:00 （日医）日医理事会	29	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:15 医協理事会 19:00 第8回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	
16	水		30	水	15:00 労災診療指導委員会	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

日本医師会からのお知らせ

**応募
要項**

生命

いのち

第4回

を見つめる

フォト&エッセー

フォト
部門

エッセー
部門

小中高生の部
新設

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

審査員 (順不同、敬称略)


野町和嘉
写真家
/ 日本写真家協会会長


岩合光昭
動物写真家


松下奈緒
女優 / 音楽家

■ エッセー部門


養老孟司
東京大学名誉教授
/ 解剖学者


玄侑宗久
作家 / 福聚寺住職


水野真紀
女優

応募締め切り

**2020年
10月7日 水**

必着



公式ホームページ <https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省（申請中） 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社

生命を見つめるフォト&エッセー 検索





人間、動物、自然など被写体は自由です。

※デジタルカメラで撮影したもの、デジタルプリントも応募可能です。

※500万画素以上であれば携帯電話等での撮影も可能です。

※画像処理等の加工、合成及び組み写真は不可とします。

■作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。

■応募作品は、2017年6月1日以降に撮影したものに限りです。

■応募は1人3点までに限りです。

【賞】

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	審査員特別賞(1点)	賞金5万円、賞状他
小中高生の部	入選(若干名)	賞金3万円、賞状他
	最優秀賞(1点)	図書カード3万円分、賞状他
	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状他

応募締め切り 2020年10月7日※ 必着

■応募作品は自作、フォト部門は本人撮影の未発表作品に限りです。盗作、二重応募、類似、事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。

※すでに書籍化したものや、公の刊行物に掲載されたものは応募不可とします。

※違反が確認された際は、受賞決定後も賞の取り消しとなる可能性があります。

※ご記入いただいた個人情報、受賞した場合の連絡、作品に関する問い合わせ、取材、本コンテストに関するご案内のみに使用し、それ以外の目的での使用や、第三者に譲渡することはありません。

作品
送付先

〒100-8055

東京都千代田区大手町1-7-1

読売新聞東京本社 次世代事業部

「生命を見つめるフォト&エッセー」係



※記載事項は変更になる場合があります。最新情報は公式ホームページをご覧ください。

病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師から宛てに送ったという想定「感謝の手紙」などを募集します。

※小学生の部では、生命(いのち)を身近に感じたエピソードをテーマとします。

【一般の部・中高生の部】2,000字(原稿用紙1~5枚)以内。

【小学生の部】1,200字(原稿用紙1~3枚)以内。

※パソコン、ワープロ使用の場合、1ページ400字(20字×20行)とします。

※ウェブ応募の際は公式ホームページからダウンロードしたテンプレートを使用してください。

【賞】

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	審査員特別賞(1点)	賞金10万円、賞状他
中高生の部	入選(若干名)	賞金3万円、賞状他
	最優秀賞(1点)	図書カード3万円分、賞状他
	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状他
小学生の部	最優秀賞(1点)	図書カード1万円分、賞状他
	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状他

応募規定

■応募作品は返却いたしません。

■入賞作品の発表は、2021年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイト、作品と実名、年齢を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。

■表彰式は2021年2月に東京都内で実施予定です。

■医師および医療従事者も応募可能です。

応募方法

◆ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ

(<https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。

◆エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。

◆郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。



応募用紙

※氏名は実名のための受付となります。

応募部門		題名	
フォト部門 一般の部	フォト部門 小中高生の部	エッセー部門 一般の部	エッセー部門 中高生の部
氏名 ふりがな		年齢 歳	TEL
(年 月 日生)		()	() -
性別 (男) (女)		FAX	() -
住所		MAIL	
都 道 府 県			
職業(学校名・学年)	フォトのみ	撮影年月日	撮影場所
		年 月 日	
確認の上、チェック ☒ を入れてください			
☐ (フォト部門のみ)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません ☐ この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません			
本コンテストを知ったきっかけ			
(1) 読売新聞を見て (2) 病院、医療機関で見て (3) 学校(小・中・高・大・専門)で見て (4) 写真店・カメラ屋で見て (5) 読売新聞ホームページを見て (6) このチラシを見て (7) 医療関係者から聞いて (8) 友人・知人から聞いて (9) 雑誌や本を見て(具体的に:) (10) 公募サイトで見て(具体的に:) (11) インターネット広告を見て (12) ヨミドクターを見て (13) 日本医師会ホームページを見て (14) 日本医師会からのお知らせを見て (15) その他(具体的に:)			

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。エッセー部門は主催者に帰属します。
両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他広報物に使用する権利は、主催者が有します。

キトリ

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となったものがあります。

【中止】や【延期】の表示のないものについても，参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
【※延期】 令和2年度宮崎県 外科医会夏季講演 会（日本臨床外科 学会地方会） 8月7日(金) 18：30～20：30 県医師会館	十二指腸潰瘍癒痕狭窄に起因する食道破裂による敗血 症性ショック外科的一救命例 宮崎大学医学部 外科学講座 内勢 由佳子 他	15 (2.0)	◇主催 宮崎県外科医会 (連絡先) 宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会（Web講 習会） 8月7日(金) 19：00～20：00 第一三共株式会社 宮崎営業所（Web 講習会）	新型コロナウイルス感染症に福岡県はどう立ち向かっ たか 九州医療センター 広域災害・救急救命センター センター長 野田 英一郎	7 (0.5) 8 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 第一三共(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 8月18日(火) 19：00～21：00 串間市総合保健福 祉センター	作業環境関連疾患(腰痛・VDT障害)の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (0.5) 12 (0.5) 37 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月19日(水) 19:00～21:00 県医師会館	今日のうつ病の理解と対応 産業保健相談員 中村クリニック 院長 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第8回在宅医療推 進のための連携・ スキルアップ研修会 8月20日(木) 19:00～20:30 県医師会館	眼科疾患と訪問診療 川島眼科 院長	80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院内 地域包括ケア推進セ ンター ☎0985-77-9106
【※中止】 第18回認知症サポ ート医・かかりつ け医スキルアップ 研修会【TV会議】 8月21日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場：都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西臼杵】	レビー小体型認知症からせん妄エピソードへと診断変 更した66歳女性の1症例 －MIBG心筋シンチグラフィーの落とし穴－ 県南病院 認知症疾患医療センター 蛸原 功介	29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター
	免許更新がきっかけに発見された認知症の症例 吉田病院 認知症疾患医療センター センター長 富田 精一郎	29 (0.5)	
	嗜銀顆粒性認知症の1例 大悟病院 認知症疾患医療センター 井上 輝彦	29 (0.5)	
	シーケンス解析を行った家族性前頭側頭型認知症の 1症例 野崎病院 認知症疾患医療センター センター長 宇田川 充隆	29 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会在宅 医療協議会令和2 年度総会・研修会 8月22日(土) 15:00～17:30 県医師会館	宮崎地区の小児在宅医療について：患者さんの声と当 科のとりくみ 宮崎大学医学部 小児科 宮崎小児地域医療学 次世代育成支援講座 准教授 池田 俊郎	4 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	医療的ケア児を地域で支えるー長崎県の取りくみ みさかえの園 あゆみの家 岡田 雅彦	12 (0.5) 13 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 8月27日(木) 19:00～21:00 県医師会館	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治	3 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
	生涯研修の専門研修会：2単位		
令和2年度糖尿病 性腎症重症化予防 勉強会 8月28日(金) 18:30～20:30 KITTO小林2階 交流スペース	糖尿病連携手帳活用の実際 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展	76 (0.5)	◇主催 ※宮崎県福祉保健部 国民健康保険課 ☎0985-44-2608 ◇共催 小林市健康推進課
	連携手帳を活用した多職種連携のあり方 池井病院 副院長 小原 健一	76 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 9月4日(金) 19:00～21:00 メインホテル	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
	生涯研修の専門研修会：2単位		

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第189回宮崎県眼科 医会講習会 9月12日(土) 17:30～19:00 ホテルスカイタワー 参加費:3,000円	滲出型加齢黄斑変性における抗VEGF薬の使い方アッ プデート 旭川医科大学 眼科学講座 教授 柳 靖雄	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 ノバルティスファーマ(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 9月15日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会:2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県皮膚科医会 学術講演会(Web 講習会) 9月17日(木) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル (Web講習会)	当院における生物学的製剤によるアトピー性皮膚炎の 治療経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座皮膚科学分野 医員 西川 陽太郎 ----- type2炎症反応の側面から考えるアトピー性皮膚炎治療 獨協医科大学 皮膚科学講座 教授 井川 健	26 (0.5) 73 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 サノフィ(株) ☎0120-852-297
宮崎県医師会産業 医研修会 9月18日(金) 19:00～21:00 県医師会館	精神科産業医から見た定期健康診断の重要性(Ⅰ) 産業保健相談員 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会:2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第190回宮崎県眼科 医会講習会 10月10日(土) 16:30～18:40 宮崎観光ホテル 参加費:3,000円	滲出型加齢黄斑変性に対する治療アップデート ーベオビュは特効薬となりうるかー 関西医科大学 眼科学教室 講師 大中 誠之	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 ノバルティスファーマ(株)
	ぶどう膜炎難治症例の考え方 九州大学医学研究院 眼科学 教授 園田 康平	36 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 10月15日(木) 19:00～21:00 県医師会館	両立支援の実際 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター センター長 鈴木 斎王	1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
	生涯研修の専門研修会:2単位		
宮崎県医師会産業 医研修会 10月20日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治	1 (0.5) 8 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
	生涯研修の実地研修会:2単位		
第31回ひむか骨関 節・脊椎脊髄疾患 セミナー 10月31日(土) 15:25～19:00 シーガイアコンベ ンションセンター 参加費:1,000円	関節リウマチにおける骨関節破壊機序とその対策 大阪大学 医学系研究科運動器再生医学共同研究講座 特任講師 蛭名 耕介	1 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎 脊髄疾患セミナー ◇共催 ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118
	骨粗鬆症の診断と治療 ー外来診療におけるピットフォールー 産業医科大学医学部 整形外科 教授 酒井 昭典	59 (0.5) 77 (0.5)	
	画像データから考える変形性膝関節症の治療戦略 京都府立医科大学 医学研究科運動器機能再生外科学 教授 高橋 謙治	61 (0.5) 62 (0.5)	

診療メモ



めまいの診断と治療

医療法人建悠会 吉田病院精神科・耳鼻咽喉科
宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室

きよ みず けん すけ
清 水 謙 祐

はじめに

めまいの診断はそれほど難しくはない。また診断は保留のまま治療する場合もある。そして、いわゆる「めまい症」のままで軽快することも少なくない。めまい疾患はその原因により、内耳性、中枢性、その他に分類される。それぞれ独立して生じることもあり、原因が複数あることも珍しくない。筆者の場合は、まずめまい問診表Dizziness Handicap Inventory (DHI)にて重症度を判定し、めまい鑑別診断をしながら、治療も同時に進める。重症の場合、診断は後回しにして、まずは炭酸水素ナトリウム静脈注射をする場合もある。「患者さんに良くなったと思わせること」がコツと確信している。

めまい疾患の治療は、抗めまい薬内服（セファドール、メリスロン、アデホス、メチコバルなど）、理学療法（Epley法、Lempert法）、前庭リハビリテーション（前庭リハ）、精神的ケアなどを行う。

1. メニエール病（特発性内リンパ水腫）、遅発性内リンパ水腫

メニエール病は、①反復するめまい発作（回転性）があり、通常数時間であり、②難聴、耳鳴、耳閉感などをともなう。③変動性聴力、低音域の聴力低下が特徴的である。原因不明の内リンパ水腫を示す。一方、遅発性内リンパ水腫は、一側高度感音難聴の後に反復するめまい発作（回転性）が数時間程度み

られる。内耳性めまいであるが、その発症に関してストレスと関連がある。ストレスにより症状の悪化を認める場合が多く、不安障害との合併が多い。治療として向精神薬が効果的であることは良く知られている。また、睡眠障害を改善することで、メニエール病が改善する例もある。

2. BPPV（良性発作性頭位めまいbenign paroxysmal positional vertigo）

①特定の頭位（めまい頭位）のときに一過性（数十秒）の回転性めまいが生じる。②難聴、耳鳴はともなわない。③疲労現象として、めまい頭位を繰り返すと症状は軽快、または消失する。眼振が出現するまでの潜時がある。後半規管浮遊耳石と考えられている。治療法は半規管耳石置換法：Epley法（1992年）である。外側半規管型BPPVの特徴として、①潜時は短い、眼振の持続時間が長い、②疲労現象はないこともある。③蝸牛症状・中枢神経症状・頸部異常を認めない、④患側の半規管麻痺が多い、水平性眼振である。外側半規管浮遊耳石の治療法は、半規管耳石置換法：Lempert法（1996年）である。他にもさまざまな理学療法がある。左と右の患側、三半規管（前、後、外側）、半規管とクプラの違い、半規管のlong-arm型とshort-arm型の違いなど、 $2 \times 3 \times 2 \times 2 = 24$ 種以上のバリエーションがあり、半規管内で耳石が詰まる可

能性など、眼振出現の機序としてさまざまな興味深い仮説がある。先生方、ぜひともめまい学会に入会していただきたい！

3. PPPD：持続性知覚性姿勢誘発めまい persistent postural - perceptual dizziness

PPPDは①初回発作から3か月以上、②1か月のうち15日以上めまい、③立位・体動・視覚のすべてでめまいは増悪する、を満たす。ヒステリーは含まない。恐怖性姿勢めまい (Phobic Postural Vertigo; PPV)、慢性自覚性めまい (chronic subjective dizziness; CSD)、視性めまい (visual vertigo; VV)、空間運動不快 (space and motion discomfort; SMD) のオーバーラップする部分を整理して、新しい疾患概念として定義したものである。機能性めまいの中心になる疾患である。治療は前庭リハビリテーション、認知行動療法、抗うつ薬 (SSRI, SNRI) となる。不眠をとまなうものは睡眠治療が勧められる。筆者は抗うつ薬NaSSAミルタザピンを使うことが多い。

4. 片頭痛関連めまい

片頭痛診断に有用なスクリーナーがあり、①日常的な動作による頭痛悪化、②吐き気、③ふだんは気にならない程度の光がまぶしく感じる、④臭いが嫌だと感じる、の質問のうち2項目が時々、半分以上の場合、片頭痛を疑う。片頭痛とめまい発作が5回以上あり、関連する場合に診断される。片頭痛の治療によりめまいも軽快する例を認める。筆者の例では87.5%(28/32)と精神疾患併存率は高い。めまい・頭痛・うつ病の併存は高いと思われる。

5. その他 VBI (椎骨脳底動脈循環不全)、前庭神経炎、聴神経腫瘍、真珠腫など

VBIは、50歳以上の高齢者に多く、めまいにともない、脱力発作、視力障害、頭痛、複視などを認める。前庭神経炎は、突然の激しい回転性めまいが数日持続し、めまいは反復しない、難聴、耳鳴をとまなわない。温度眼振検査で高度障害か無反応である。めまいの画像検査はMRIが望ましい！聴神経腫瘍の診断が可能である。耳の診察は必須である。真珠腫による半規管瘻孔は鑑別すべき疾患であり、耳鼻科への紹介が必要である。

6. 心因性めまい、精神疾患併存

筆者は耳鼻咽喉科専門医であるが、精神保健指定医・精神科専門医・指導医としても耳鼻咽喉科と精神科の両科にまたがる患者の診察をしている。めまい患者の精神疾患併存は約7割、67.8% (689/1016) であるため、精神科のアプローチも有効である。

併存する精神疾患として、①恐怖症性不安障害、②うつ病は頻度が高い。最近では③双極性障害、④認知症、⑤軽度認知障害の併存も高い。

おわりに めまい学会へのお誘い、めまい相談医制度、マニアックな世界へ

日本めまい平衡医学会 (<http://www.memai.jp/>) では、めまい相談医制度があり、①臨床経験6年、めまい学会3年、②めまい学会主催の医師講習会を受講し修了、③基本領域の専門医資格所持の場合、めまい相談医を取得できる。2020年6月現在673名である。宮崎県は2名であるが、ぜひともチャレンジしていただきたい！

文献として、新井基洋：めまいは寝てては治らない改訂第3版 1-104頁 中外医学社 東京 2012は、前庭リハの理解のため、大変役に立つ。

宮大医学部学生のページ



令和2年度，新入生歓迎委員よりご報告

新入生歓迎委員会 委員長 医学科4年 ^{たか}高 ^お尾 ^{まさ}政 ^き輝

全世界で新型コロナウイルスが蔓延し、2020東京オリンピックの開催延期に引き続き今年度の九山，西医体の開催も中止されました。今年が最終学年だった医学科6年，看護科4年の方々のお気持ちを考えると残念でなりません。

暗いニュースが続いている昨今ですが，本年度も宮崎大学医学部にめでたく医学科111名，看護科61名の新入生が入学しました。今年度の新歓は例年通りの新入生歓迎オリエンテーションや東天閣での新歓コンパなどは開催できませんでしたが，新型コロナウイルス感染防止策をふまえたうえで実施できた取組みがいくつかありましたので，手短ではありますがここで紹介させていただきます。

まず新入生の入学と同時にLINEグループを作成し，新入生全員に入ってもらいました。入学後も授業が始まらず新入生同士のつながりや在校生とのつながりが持てなかった新入生にとって，SNSを通して新入生同士でつながれたこと，学内のさまざまな情報を新歓幹部から発信できたことは大変有意義だったと思います。

また例年入学後すぐに部活動の新歓が始まり

新入生歓迎ムードができるのですが，4，5月は宮崎大学のすべての課外活動を自粛していたため，新入生にとって何もない期間ができてしまっていました。そこでZOOMを使ったオンライン新歓を各部活動に提案しました。企画する在校生にとっても，参加する新入生にとっても最初はハードルが高かったのですが，最終的にはほとんどの部活動が実施してくれたおかげで，ステイホームしながらの新歓が実現できました。

最後に宮崎県内における新型コロナウイルス新規感染者が1か月ほど確認されなくなった6月から課外活動の再開が許可され，それに続く形で6月15日～7月3日の期間で各部活動の対面での新歓が開催できました。新型コロナウイルス感染防止策をふまえた新歓自主ルールを作成し全部活動に遵守してもらったため，在校生にとっては少し息苦しい新歓だったと思いますが，学内から新規感染者もクラスターも発生させることなく新歓を終えることができたので私としてはホッとしています。

ここまで紹介したのは例年とは全く違う内容でしたが，例年通り実施できたものもありました。それはリサイクル企画というもので前年の

卒業生からいらなくなった家具を引き取り、新入生に無料で配達するという企画です。家具の処分の手間を省くこと、環境への配慮、新入生への支援という一石三鳥のこの企画を実施でき

たことは、大変喜ばしいことでした。

以上、つたない文章となりましたが、新入生歓迎会実行委員からのご報告とさせていただきます。



幹部学年での全体写真



今年の新歓幹部での集合写真



毎年新入生が入学する時に配っている新歓パンフレット



ZOOM新歓の様子

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
6月4日	・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催日程の延長に伴う風しん・麻疹に関する特別対策の対応期限の延長について ・令和2年度労災診療費算定基準の一部改定について（6月改定分） ・新型コロナウイルス感染症の発生に伴う手指消毒用エタノール優先供給（6月分）について ・精神障害者地域生活支援広域調整等事業の実施について ・小腸の機能障がい身体障がい認定基準における推定エネルギー必要量の改定について ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた労働安全衛生法等に基づく健康診断の実施等に係る対応について ・新型コロナウイルス感染症患者等の移送及び搬送について ・「2019-nCoV（新型コロナウイルス）感染を疑う患者の検体採取・輸送マニュアル」及び「新型コロナウイルス感染症に対する感染管理」の改訂について ・新型コロナウイルス感染症にかかる検査料の点数の取扱いについて ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その15）」の送付について ・メチルフェニデート塩酸塩製剤（コンサータ錠18mg、同錠27mg及び同錠36mg）の使用にあたっての留意事項について
6月5日	・新型コロナウイルス感染症対策に係る災害時の避難所としての研修所、宿泊施設等の貸出の協力依頼について ・新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について ・移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正について ・新型コロナウイルス感染症に対応したへき地に係る医療提供体制について ・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の取扱いの一部改正について ・「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年5月29日）について ・2019年 職場における熱中症の発生状況（確定値）等について ・平成30・令和元年度 産業保健委員会答申書の送付について ・健康増進事業実施要領の一部改正について ・外国人対応ワンストップ窓口事業の説明会動画公開の案内及び宮崎県事業の終了について ・新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いにおける自宅療養中の患者への医療機関における薬剤の配送方法に係る留意事項について ・検査法の追加に伴う令和2年度 宮崎県風しん抗体検査事業の様式の再送付について
6月8日	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮して通いの場等の取組を実施するための留意事項について ・令和2年度 地域支援事業実施要綱等の改正点について ・新型コロナウイルス感染症が疑われる者等の診療に関する留意点について（その2）

送付日	文 書 名
6月8日	・「病原微生物検出情報」の送付について ・新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第12報） ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
6月9日	・梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について ・検査料の点数の取扱いについて ・材料価格基準の一部改正等について ・令和2年度（第47回）調査研究助成募集（公募）のご案内 ・2018・2019年度 労災・自賠責委員会報告書のご送付について
6月10日	・「熱中症事故の防止について（通知）」の送付について《新型コロナウイルス感染症への学校環境衛生対応関連》 ・令和2年度 診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について ・「使用上の注意」の改訂について
6月11日	・きこえない・きこえにくい人への医療機関での診療などの際の配慮について【お願い】 ・NBCR対策推進機構「NBCR危機管理フォーラム2020」－感染症の時代に生きる－（案）の開催について ・広域災害・救急医療情報システム（EMIS）新バージョンのリリースおよび一時的利用停止のお知らせ ・公立学校等における労働安全衛生管理体制等に関する調査について ・「学校における消毒の方法等について」の送付について《新型コロナウイルス感染症への学校環境衛生対応関連》 ・リーフレット「遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診」について ・新型コロナウイルス感染症対策に係る病院の医療提供状況等の把握等について調査項目一部変更のお知らせ（その6）について ・新型コロナウイルス感染症に伴う定期的予防接種の実施に係る周知等について ・新型コロナウイルス感染症に対する感染管理について ・新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査の更なる検査体制の整備のため、「診療放射線技師及び臨床検査技師等に関する法律の一部改正の施行等について」に伴う臨床検査技師の業務の研修の受講に関する留意事項について
6月12日	・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その21） ・医療機関等におけるクラスター発生時の看護職員の派遣に関する支援について ・「夏季を迎えるにあたっての外来セッティングについて～エアコンの取り扱いなど～」のホームページ掲載について
6月15日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その16）」の送付について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その17）」の送付について ・無線LANのセキュリティに関するガイドラインの周知について ・蚊媒介感染症及びダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について ・重度障がい者（児）医療費助成制度の外来の現物給付化に係る事務取扱要領案について ・新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養及び自宅療養に係るマニュアル等の改訂について ・新型コロナウイルス抗原検出用キットの供給に関する調整等について（その2）

送付日	文 書 名
6月16日	・「母子保健事業等の実施に係る自治体向けQ & A（令和2年6月2日時点）」について ・母子保健医療対策総合支援事業における令和2年度第二次補正予算に係るQ & Aについて
6月17日	・共済組合員証等の無効について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その22）
6月19日	・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う令和2年度における「不妊に悩む方への特定治療支援事業」の所得要件の取扱いについて ・「感染症法における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて」の一部改正等について ・令和2年度 介護事業実態調査（介護従事者処遇状況等調査）への協力依頼について ・「生命を見つめるフォト&エッセー」（フォト部門）作品パネル貸し出しについて
6月22日	・フィリピンからの入国後に狂犬病を発症した患者（輸入感染症例）の死亡について ・新型コロナウイルスの感染拡大に際して電話や情報通信機器を用いた診療を実施する医療機関の実施状況の報告について ・「新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置による休暇取得支援助成金」及び「新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置」の周知へのご協力をお願い ・「SARS-Cov-2 抗原検出用キットの活用に関するガイドライン」の改訂について ・「学校等欠席者・感染症情報システムについて」の送付について《新型コロナウイルス感染症への対応関連》 ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関及び新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関について ・「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」の公布について ・指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準及び指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の一部を改正する省令の公布等について ・新型コロナウイルス感染症により機能停止等となった社会福祉施設等に対する融資について ・医療機関における外国人対応に資する各種サービスの案内について ・「『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（2020年6月16日Ver.2）』の周知について（依頼）」の送付について ・新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養及び自宅療養に係るマニュアル等の改訂について ・令和2年度医療介護提供体制改革推進交付金、地域医療対策支援臨時特例交付金及び地域介護対策支援臨時特例交付金（地域医療介護総合確保基金）管理運営要領等の一部改正について
6月23日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・厚生労働省Webサイト「医療のお仕事Key-Net」等を通じて行う医療人材等の緊急的な確保を促進するための取組について ・義肢等補装具費支給要綱の一部改正について ・労働者災害補償保険法における診断書料等の取扱いの一部改正について ・労災診療費算定基準の一部改定について

送付日	文 書 名
6月25日	・「医療的ケアを必要とする幼児児童生徒が在籍する学校における留意事項について」の送付について《新型コロナウイルス感染症への対応関連》 ・新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第13報） ・日本臨床衛生検査技師会による新型コロナウイルス感染症の検査にかかる研修について ・「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（介護分）について（令和2年度第2次補正予算）」の送付について ・今後を見据えた新型コロナウイルス感染症の医療提供体制整備について ・「平成30年度 介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和元年度調査）の結果について（最終版・情報提供）」の送付について ・訪問系サービス事業所の介護サービス継続に向けた支援について ・整形外科関連5学会提言「新型コロナウイルス感染防止対策下における児童・生徒等の運動器の健康ならびに運動器検診について」の送付について ・NBCR対策推進機構「医療従事者のための爆発物災害対策医療講習会」の開催について ・新型コロナウイルス感染症予防対策に係る動画教材の公開について ・「緊急医療人材等確保促進プラン」の実施にあたっての厚生労働省からの情報の提供について（医療のお仕事Key-Net） ・コンタクトレンズの適正使用に関する啓発動画及び啓発ポスターの公表について ・「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その12）」及び「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その19）」の一部訂正について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その23） ・「使用上の注意」の改訂について ・「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」の一部改正について ・スポーツ庁委託事業 女性アスリートの育成・支援プロジェクト『女性アスリート支援プログラム』について ・地方創生臨時交付金の活用について（看護師等養成所への支援） ・独立行政法人福祉医療機構の新型コロナウイルスにより事業停止等となった事業者に対する福祉医療貸付事業の拡充等の第2次補正予算における金融措置等について ・新型コロナウイルス感染症の発生に伴う看護師等養成所における臨地実習の取扱い等について
6月26日	・母子保健医療対策総合支援事業における令和2年度 第二次補正予算に係るQ & A等について
6月29日	・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・医療情報化支援基金に関するポータルサイト開設のお知らせについて
6月30日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて

あとかき



熊本県南部で発生した豪雨災害につきましては、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。避難所には高齢者が多数おりますので、新型コロナウイルス感染の拡大を心配しておりましたが、検査した皆さんが陰性だったとのことでホッとしております。今後も継続した支援が必要と思われますが、感染拡大を

危惧し十分な支援ができない状況だけは起きないように願っております。

隣の国でも、前代未聞の大水害がおきており、7月21日までの被害者だけでも4,000万人を超すとの報道もあります。新型コロナウイルス感染拡大時は、マスクやガウンが不足しましたが、今回の大水害で医療業界にさらなる危機が訪れるかもしれません。中国の医薬品市場は15兆円にも上り、米国の消費者向け医薬品の主要成分の80%以上が主に中国からの輸入品だとする統計もあります。今後更に水害が深刻化して、三峡ダムが決壊し長江流域が機能不全に陥れば、世界中の医薬品が不足する事態になりかねません。

当院にも4月から新しい研修医が加わり、日々切磋琢磨しておりますが、歓迎会もできない状況が続いております。もうすでに、年末の忘年会も中止の方向で進んでおります。7月22日現在、県内のコロナ感染は落ち着いておりますが、8月号が皆さんの手元に届いた頃には、Go Toキャンペーンで、多数の県外旅行者が増えていくかと思えます。嫌な予感が的中しないことを切に願っております。(植田)

* * *

巣ごもりの一環として椎茸栽培をやってみました。Amazonで簡易栽培キットが2,000円くらいであります。菌を埋め込んである土台を暗めの室内に置いておき、1日1回霧吹きで水をかけるだけなのですが、数日で大小30本くらいボコボコとはえてきます。昼と夜で明らかに分かるくらいみるみる大きくなり、怖いくらいでした。何サイクルか収穫できるとの説明書がありましたが、管理が悪かったのか1サイクルきりで生えなくなり、結局、高価なキノコになりましたが、子どもと一緒に収穫したり、とりたてをソテーして食べたりとなかなか面白い体験でした。キクラゲやなめこ、えのきのキットもあります。お子さんの夏休みの自由研究にいかがでしょうか。(稲倉)

* * *

今年3月と4月に親族を連れて息子の住む京都への旅行を計画しましたが、コロナ禍でどちらも断念。あらためて7月連休に予約を入れていましたが、これも関東・関西圏での第2波で諦めました。本県でもクラスターや市中感染の拡大で計121例(7/30現在)となったようです。この時期に夜の街感染などは論外でしょうが、普通の生活でもコロナ感染は足元まで広がってきている印象です。いつになったら京都へ行けるのか(泣)。ちなみに上記I先生の椎茸簡易栽培キットはうちでも育てました。ビックリするほど大きくなります。お勧めです。(菊池)

* * *

ひょんなことからネコを飼うことになり1年が経ちました。妻、娘二人の女性だらけの家族の中に待望の男の子の参入で喜んでいましたが、先日動物病院を受診した際に獣医さんから「あらメス猫ちゃんでしたね」のひとこと。成長するに連れ薄々そうではないかと思っておりましたが、女性陣へ仲間入り

してしまいました。本人(ネコ)には関係なく、今日も朝から元気に家中を走り回っています。(長井)

* * *

クリクラIの実習で、一週間消化器内科を見学しました。ほとんどの時間を内視鏡室で過ごし多くの検査や治療を見ることができました。最終日には実際に胃カメラを使わせてもらい、模型の胃の中を観察して目標の構造を画面に収める練習をしました。実習を振り返ると、自分で検査をして病変を見つけきて、必要があればその場で治療を行うことができる消化器内科はとても魅力的に感じました。クリクラIIでもぜひ回りたいと思います。(河野(太))

* * *

4月にできなかった新歓を2か月遅れて行いました。例年とは違った新歓でしたが、私が所属する軟式テニス部に無事13人の新入生が入部してくれることになりました。思っていたよりたくさんの1年生が入部を決めてくれてうれしい限りです。まだ新型コロナウイルスの感染拡大が続いているので、部活の大きなイベントはできなさそうですが、新しく入ってくれる1年生とはやく仲良くなりたいなと思っております。今までよりも更に賑やかな部活になるだろうなとすごく楽しみです。(木村)

* * *

6月の学会が新型コロナウイルスのために、Web開催となりましたがとても好評でした。診療を休まなくてもよい、宿泊・交通費が節約できる、好きな時間に視聴できるなどのメリットがあります。デメリットとしては質疑応答ができないことくらいでしょうか。10月の学会はWeb開催、会場での開催の両方式で行われる予定です。これをハイブリッド型というのだそうです。さてどちらを選びましょうか。

(佐々木)

今月のトピックス

はまゆう随筆

今年は、多くの先生方からご投稿いただきましたので、3か月にわたって随筆をご紹介します。今回も個性あふれる興味深い内容ばかりですので、ぜひ皆さんに読んでいただきたいと思います。

8 ページ

診療メモ めまいの診断と治療

日常診療でよく遭遇するめまいに関して、吉田病院 精神科・耳鼻咽喉科の清水謙祐先生に、ご説明いただきました。どの診療科の先生方にも分かりやすい内容になっていますが、重症の場合は、診断よりは治療を優先される先生のお考えには、数多くのめまいの症例を診断・治療されてきた先生の経験値が垣間見えます。やはり経験に勝るものはないですね。

80 ページ

宮大医学部学生のページ 令和2年度、新入生歓迎委員よりご報告

コロナ禍の中、新入生の歓迎会もできず、オンラインを使った歓迎会をするなど、今までの世の中ではなかったコミュニケーションの取り方を学生もしているようです。昔は、歓迎会では必ず誰かが酔いつぶれている光景を目にしていたのですが、オンライン飲み会ではさすがにないでしょうね。もしそんな人がいたら、その人とは一緒に飲まない方がいいかもしれません（笑）。

82 ページ

日 州 医 事 第852号 (令和2年8月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail: office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔、植田 雄一、高橋 典子、菊池 英維、
石田 康行、長井 慎成

学 生 委 員 河野 太地、河野 真菜、横山慎太郎、木村 桃子

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、高木 純一、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 本崎 礼子、牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円（但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）